

**海南市
在宅介護実態調査
報告書**

**令和8年3月
海 南 市**

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 実施要領	1
3. 報告書の見方	1
4. 集計・分析における留意点	1
第2章 調査結果	3
1. A票（調査対象者）	3
（1）世帯類型	3
（2）家族や親族からの介護の頻度	3
（3）主な介護者	4
（4）主な介護者の性別	4
（5）主な介護者の年齢	5
（6）主な介護者が行っている介護の種類	6
（7）介護による離職の有無	7
（8）介護保険サービス以外に利用している支援・サービス	8
（9）今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	9
（10）施設等への入所・入居の検討状況	10
（11）現在抱えている傷病	11
（12）訪問診療の利用の有無	12
（13）介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与、購入を除く）の利用の有無	12
（14）介護保険サービスを利用しない理由	13
2. B票（主な介護者）	14
（1）主な介護者の現在の勤務形態	14
（2）介護をするにあたっての働き方の調整	15
（3）仕事と介護の両立に効果的だと思われる勤め先からの支援	16
（4）仕事と介護の両立の今後の見通し	17
（5）生活を継続していくにあたり介護者が不安に感じる介護等について	18
3. 在宅限界点の向上に向けた支援・サービスの検討	19
（1）施設等への入所・入居の検討状況	19
（2）要介護度・認知症自立度の重度化に伴う主な介護者が不安に感じる介護	21
（3）要介護度・認知症自立度重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化	23
4. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	27
（1）就労状況別の基本属性	27
（2）就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み	30
（3）介護保険サービスの利用状況	34
（4）就労状況別の保険外の支援・サービスの利用状況と施設等検討の状況	35
（5）就労状況別の介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援	37
5. 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の検討	41

(1) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス	43
(2) 要介護度別の保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス...	45
6. 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援の検討	47
(1) 訪問医療の利用割合	50
第3章 資料（調査票）	52

第1章 調査の概要

1. 調査目的

高齢者を取り巻く環境が刻々と変化する中で、調査対象の現在の状況や意向、抱えている問題、また、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対する考え方などを把握し、より実態に即した計画にするための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

2. 実施要領

調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
市内在住の在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方及びその介護者から無作為抽出	800 人	474 人	59.3%	令和8年 1月7日 ～ 1月28日	郵送配布 ・ 郵送回収

3. 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・また、図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略する場合があります。

4. 集計・分析における留意点

本集計・分析では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

それぞれ、用語の定義は次ページの通りです。

サービス利用の分析に用いた用語の定義

用語		定義
未利用		・住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用している方については、「未利用」として集計しています。
訪問系		・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義

用語		定義
未利用		・上表に同じ
訪問系のみ		・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ		・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系のみ		・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計しています。

第2章 調査結果

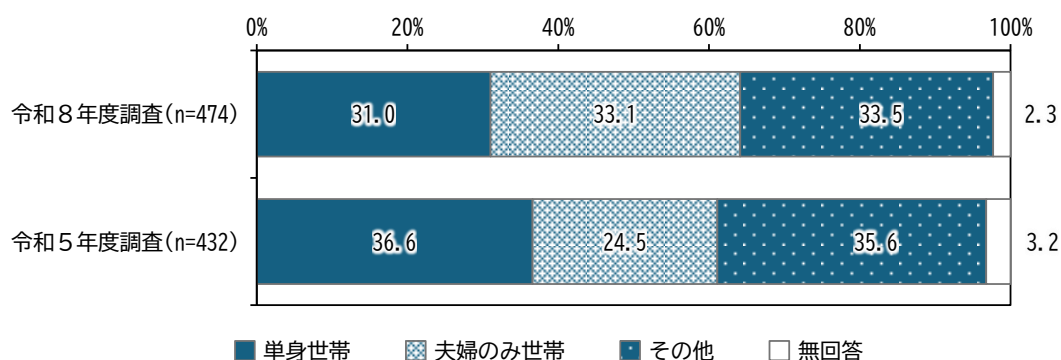
1. A票（調査対象者）

（1）世帯類型

問1	世帯類型について、ご回答ください（○は1つ）
----	------------------------

世帯類型については、「その他」が33.5%で最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が33.1%、「単身世帯」が31.0%と続いています。

令和5年度調査と比較すると、「夫婦のみ世帯」が8.6ポイント増加、「単身世帯」が5.6ポイント減少しています。

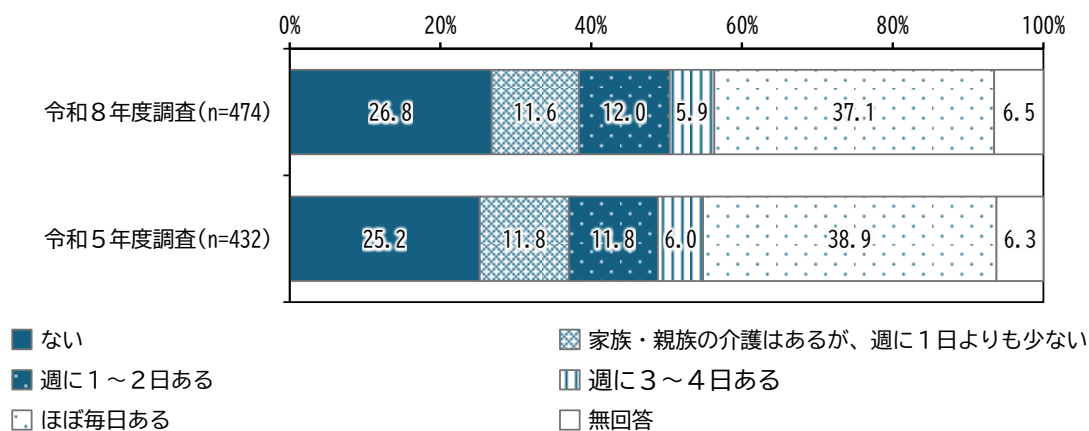


（2）家族や親族からの介護の頻度

問2	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）
----	--

家族や親族の方からの介護が週にどのくらいあるかについては、「ほぼ毎日ある」が37.1%で最も高く、次いで「ない」が26.8%、「週に1～2日ある」が12.0%と続いています。

令和5年度調査と比較すると、「ほぼ毎日ある」が1.8ポイント減少、「ない」が1.6ポイント増加しています。

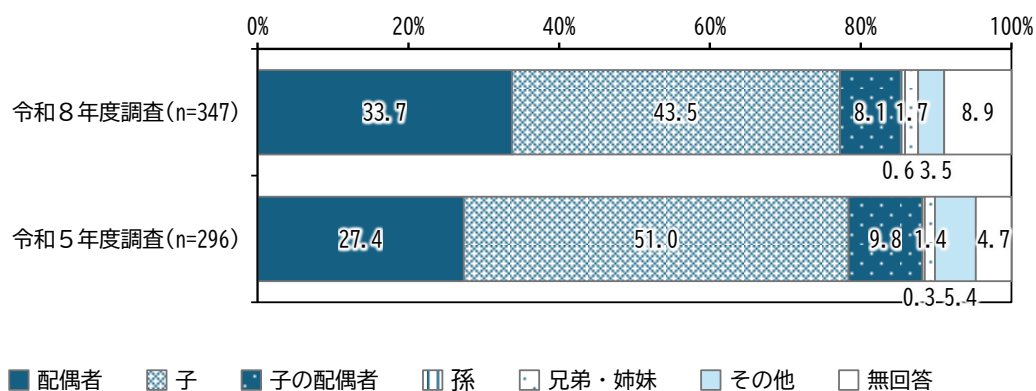


(3) 主な介護者

問3 主な介護者の方は、どなたですか（○は1つ）

主な介護者については、「子」が43.5%で最も高く、次いで「配偶者」が33.7%、「子の配偶者」が8.1%と続いています。

令和5年度調査と比較すると、「子」が7.5ポイント減少、「配偶者」が6.3ポイント増加しています。

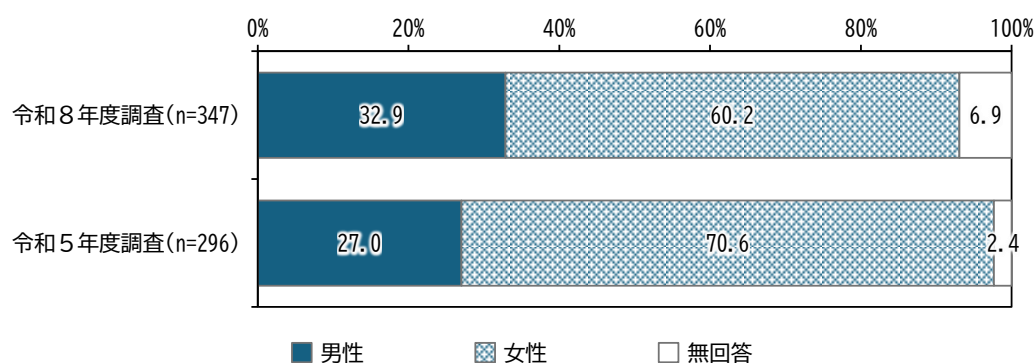


(4) 主な介護者の性別

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○は1つ）

主な介護者の性別については、「男性」が32.9%、「女性」が60.2%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「男性」が5.9ポイント増加、「女性」が10.4ポイント減少しています。

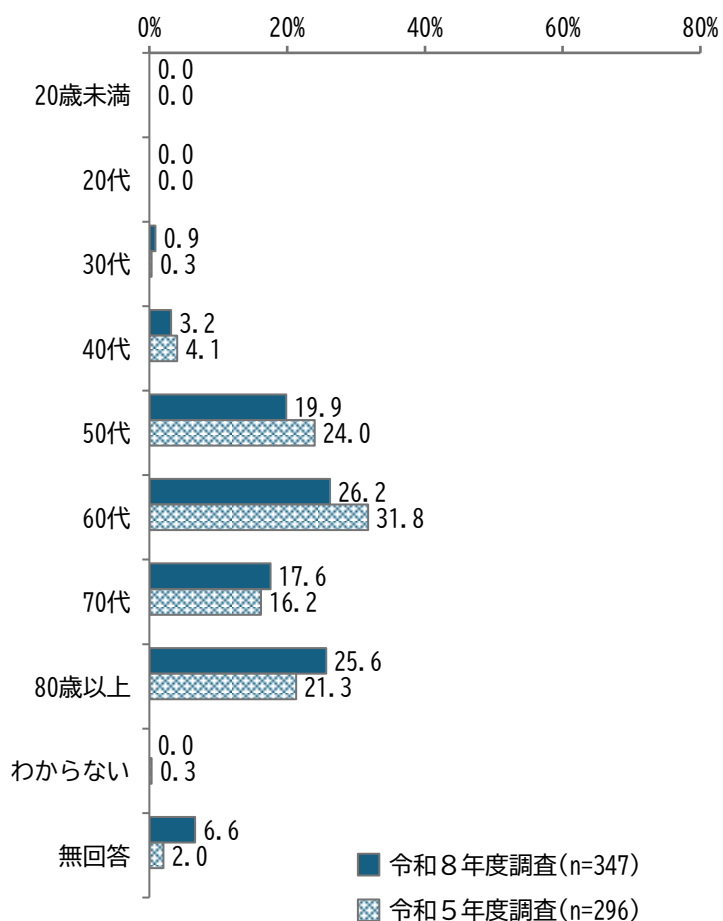


（５）主な介護者の年齢

問 5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は１つ）

主な介護者の年齢については、「60代」が26.2%で最も高く、次いで「80歳以上」が25.6%、「50代」が19.9%と続いています。

令和5年度調査と比較すると、「60代」が5.6ポイント減少、「80歳以上」が4.3ポイント増加しています。



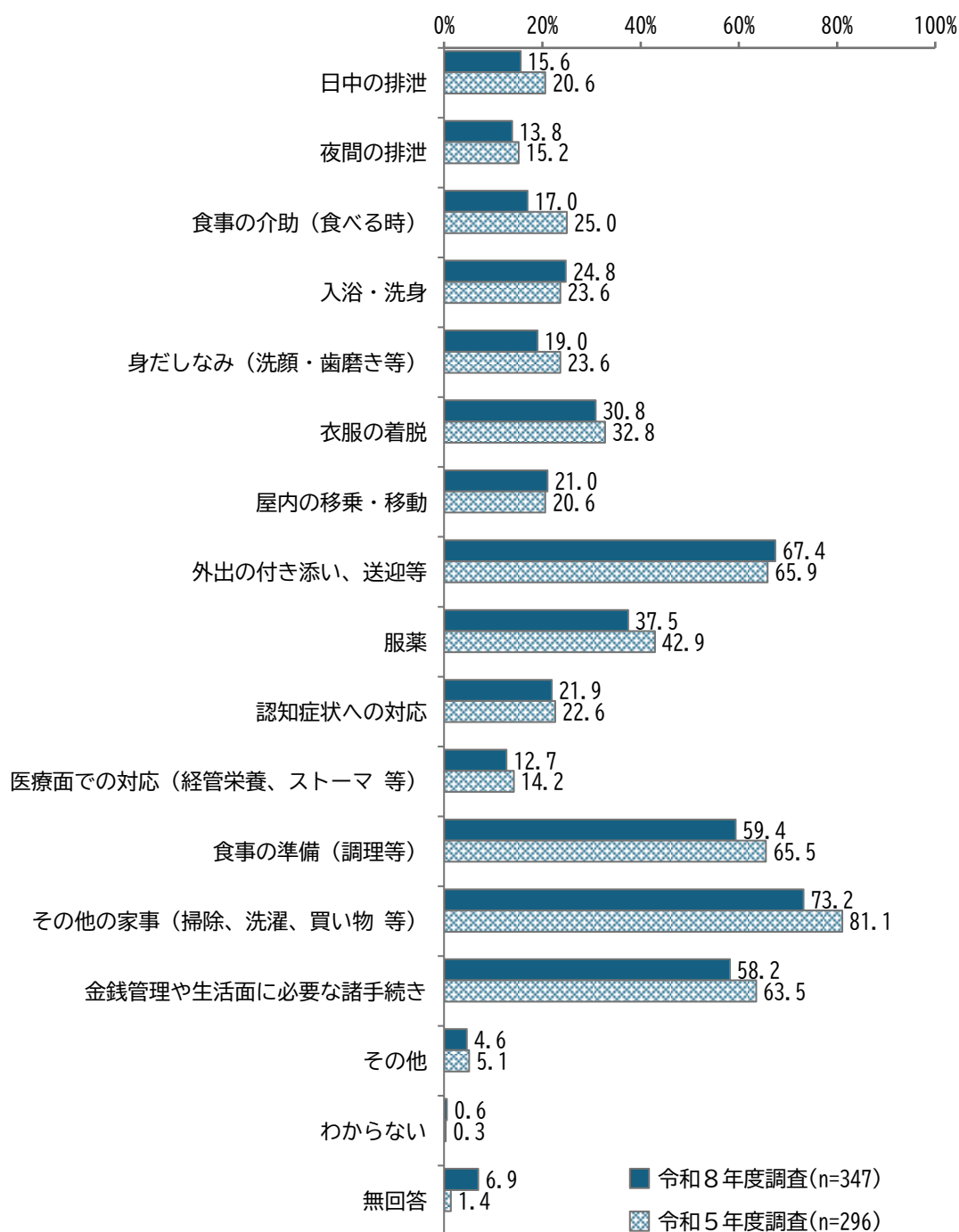
（６）主な介護者が行っている介護の種類

問 6

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（〇はいくつでも）

主な介護者が行っている介護の種類については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 73.2%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 67.4%、「食事の準備（調理等）」が 59.4%と続いています。

令和 5 年度調査と比較すると、「外出の付き添い、送迎等」が 1.5 ポイント増加、「食事の介助（食べる時）」が 8.0 ポイント減少しています。

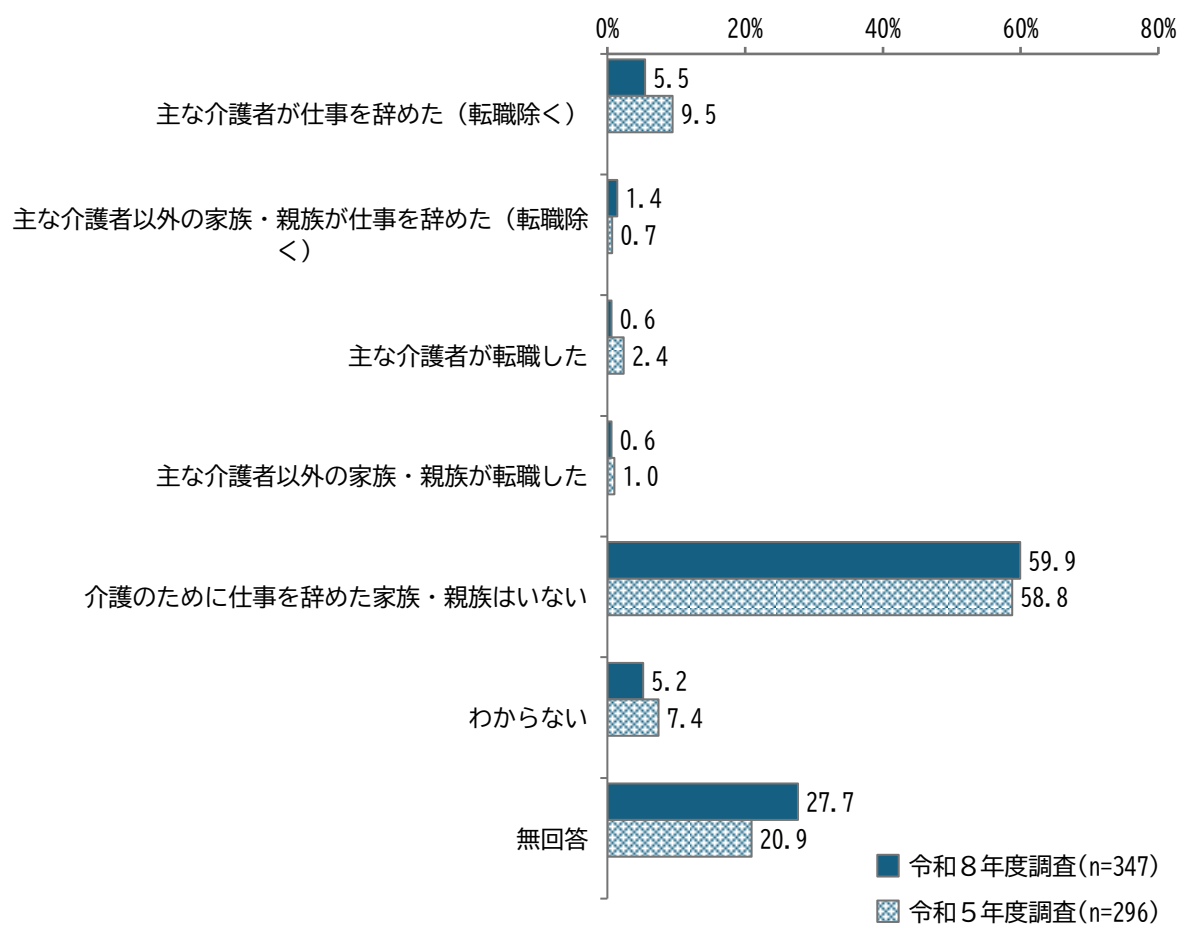


（７）介護による離職の有無

問 7	ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去１年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（〇はいくつでも）
-----	--

介護による離職の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 59.9% で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」5.5%、「わからない」が 5.2%と続いています。

令和５年度調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 1.1 ポイント増加、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 4.0 ポイント減少しています。

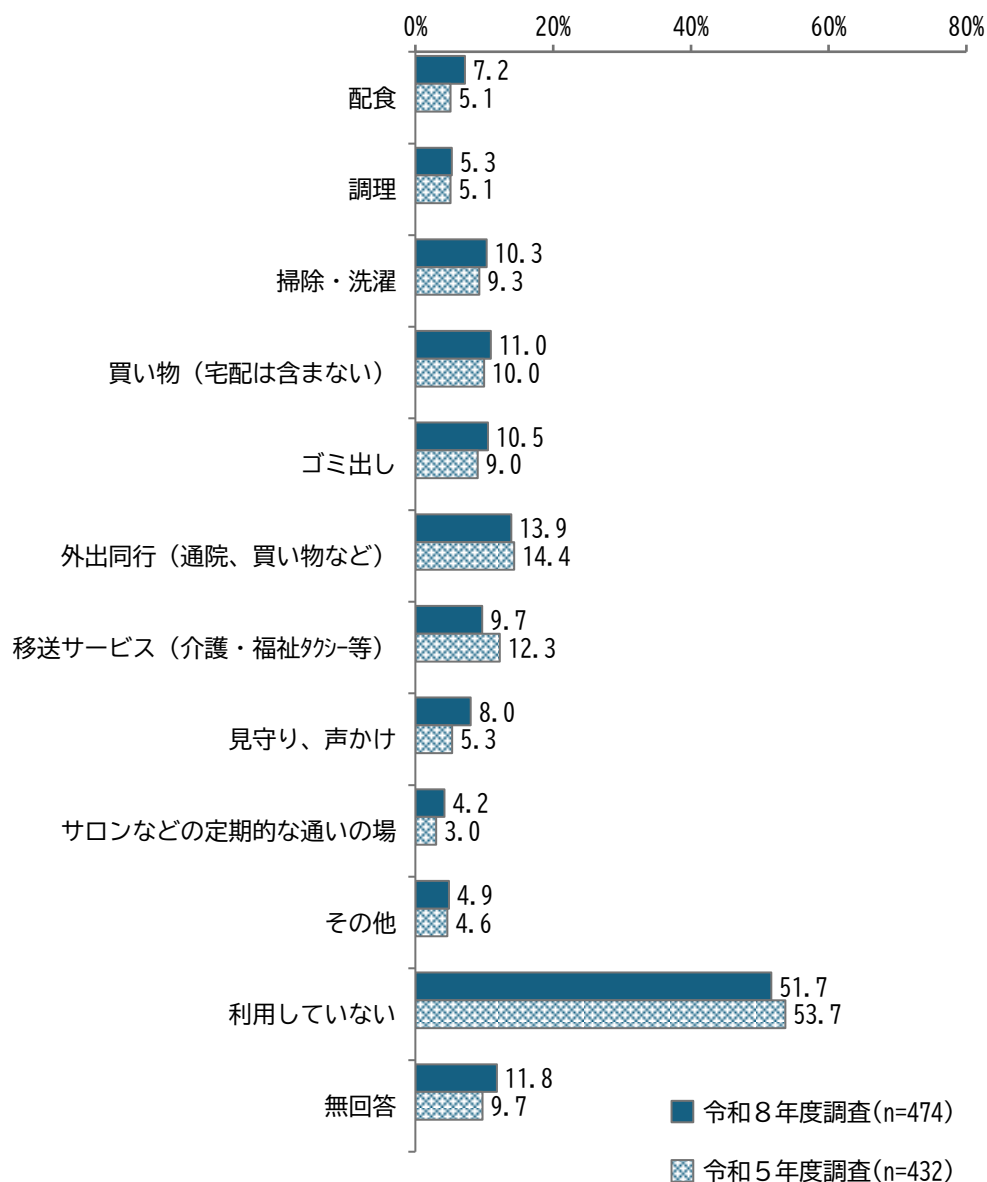


（８）介護保険サービス以外に利用している支援・サービス

問 8	現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）
-----	---

介護保険サービス以外に利用している支援・サービスについては、「利用していない」が 51.7% で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 13.9%、「買い物（宅配は含まない）」が 11.0%と続いています。

令和 5 年度調査と比較すると、「見守り、声かけ」が 2.7 ポイント増加、「配食」が 2.1 ポイント増加、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 2.6 ポイント減少しています。

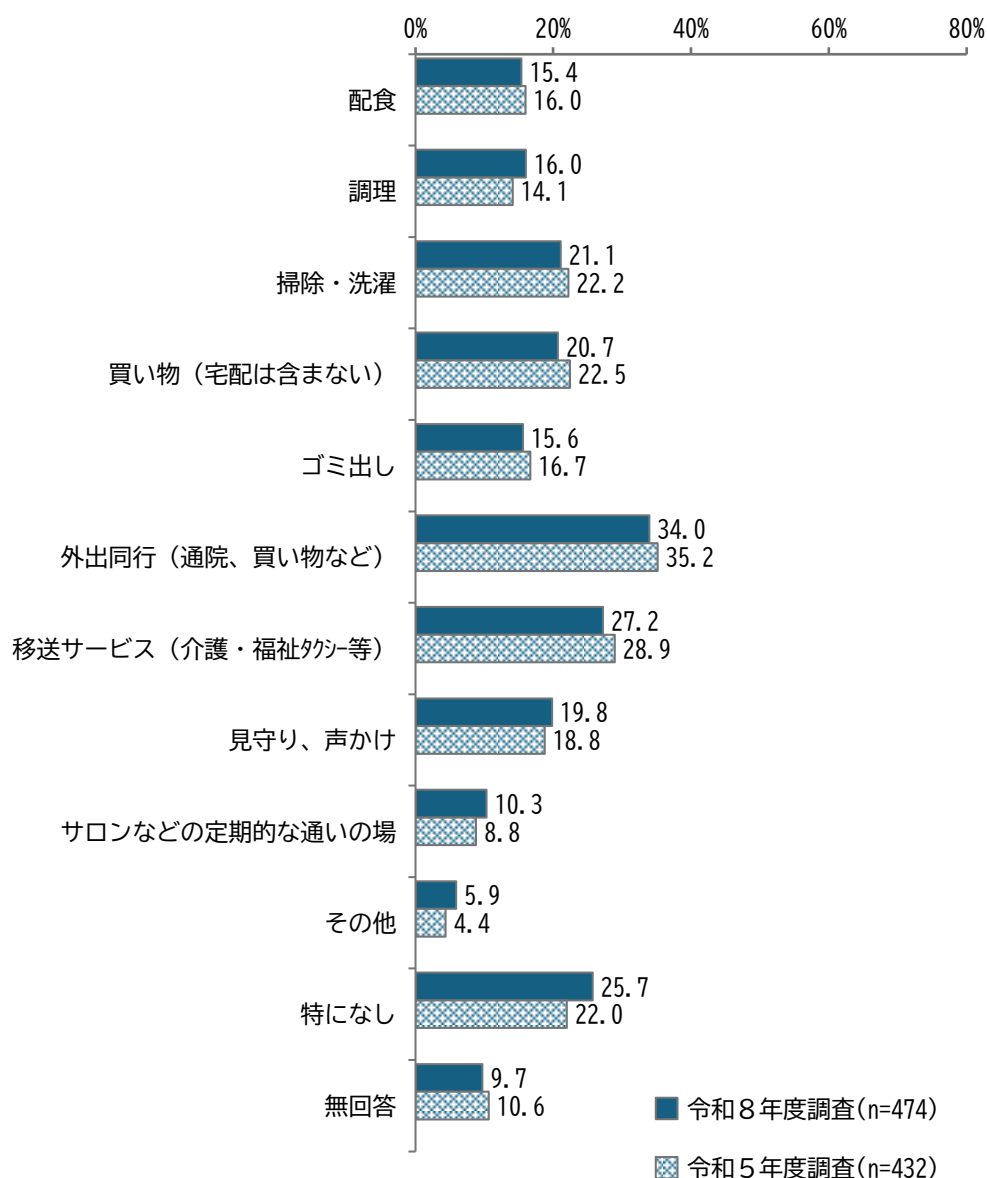


（９）今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問９ 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は１つ）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「外出同行（通院、買い物など）」が34.0%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.2%、「特になし」が25.7%と続いています。

令和5年度調査と比較すると、「特になし」が3.7ポイント増加しています。

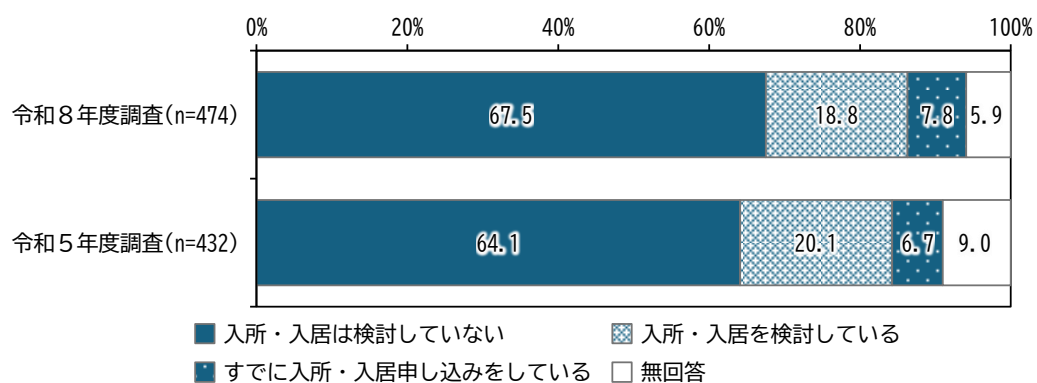


(10) 施設等への入所・入居の検討状況

問 10	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください (〇は1つ)
------	---

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が67.5%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が18.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が7.8%と続いています。

令和5年度調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」が3.4ポイント増加、「入所・入居を検討している」が1.3ポイント減少しています。

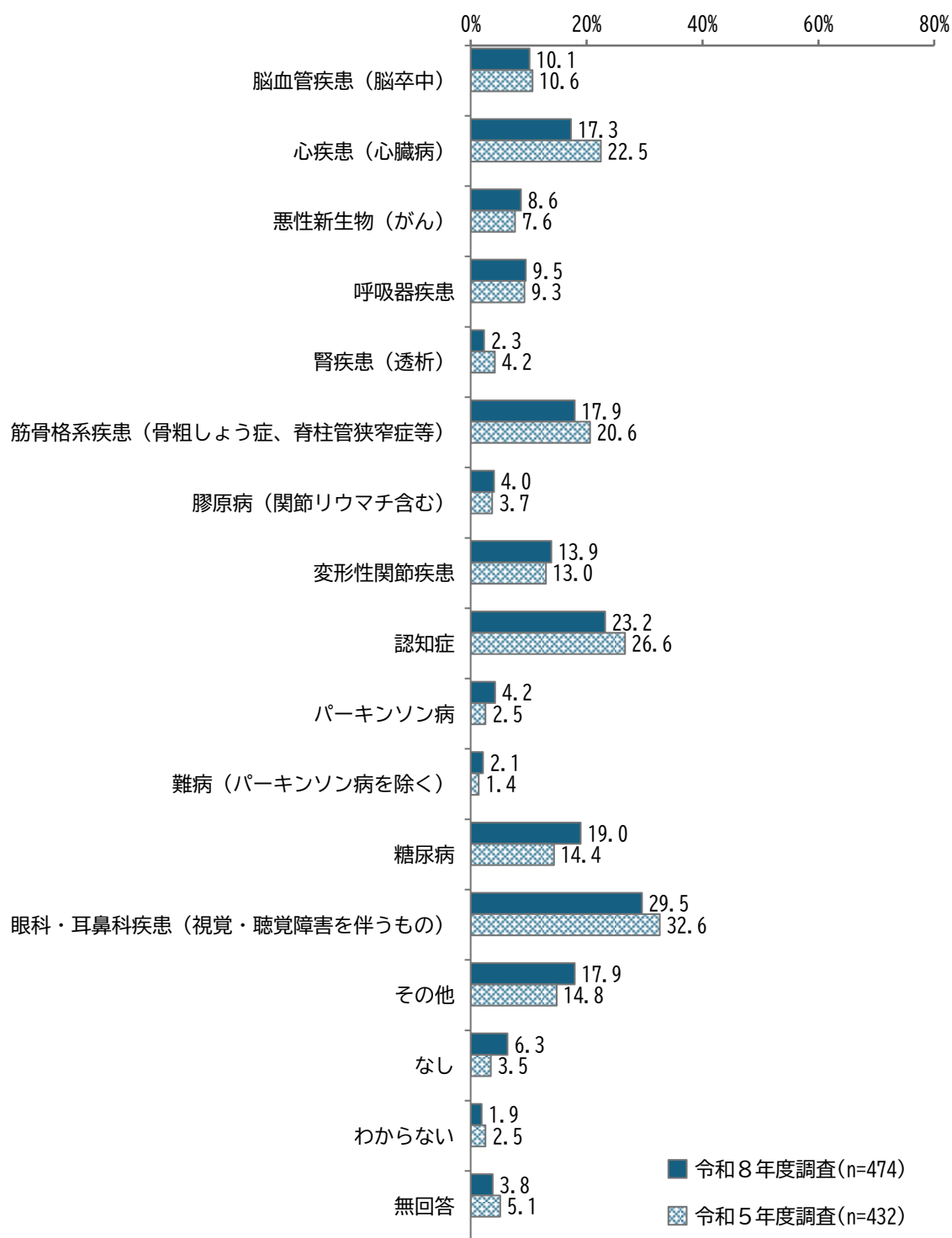


(11) 現在抱えている傷病

問 11 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（〇はいくつでも）

現在抱えている傷病については、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 29.5% で最も高く、次いで「認知症」が 23.2%、「糖尿病」が 19.0%と続いています。

令和 5 年度調査と比較すると、「糖尿病」が 4.6 ポイント増加、「心疾患（心臓病）」が 5.2 ポイント減少、「認知症」が 3.4 ポイント減少しています。

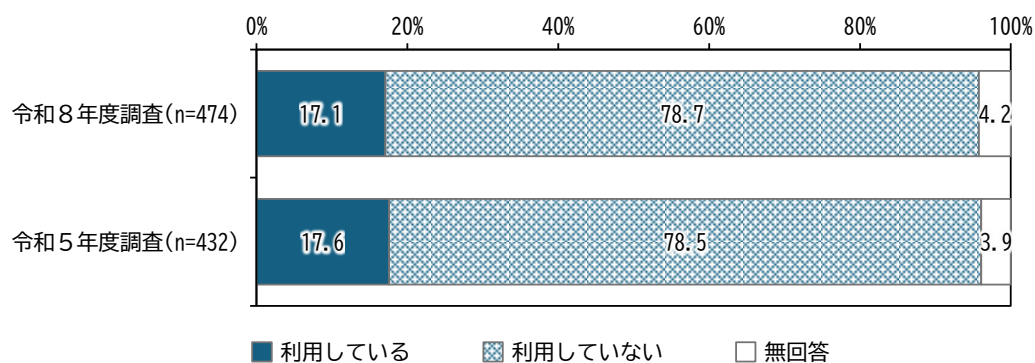


(12) 訪問診療の利用の有無

問 12	ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（○は1つ）
------	-----------------------------

訪問診療の利用の有無については、「利用している」が17.1%、「利用していない」が78.7%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「利用している」が0.5ポイント減少、「利用していない」が0.2ポイント増加しています。

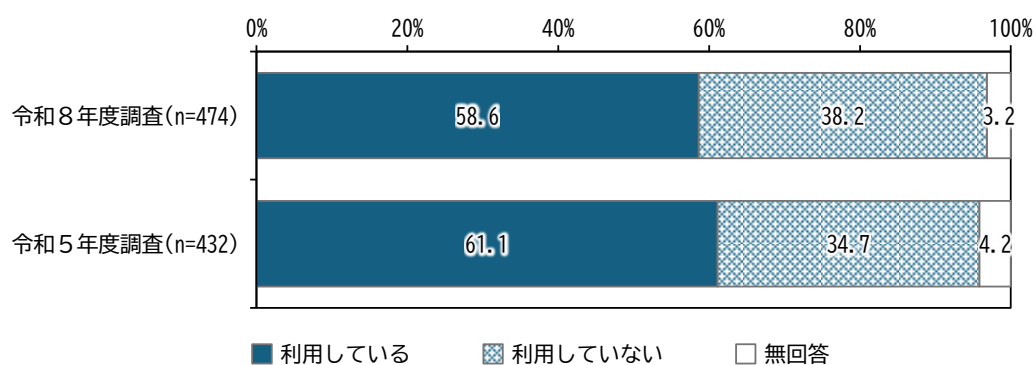


(13) 介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与、購入を除く）の利用の有無

問 13	現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（○は1つ）
------	---

介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与、購入を除く）の利用の有無については、「利用している」が58.6%、「利用していない」が38.2%となっています。

令和5年度調査と比較すると、「利用している」が2.5ポイント減少、「利用していない」が3.5ポイント増加しています。



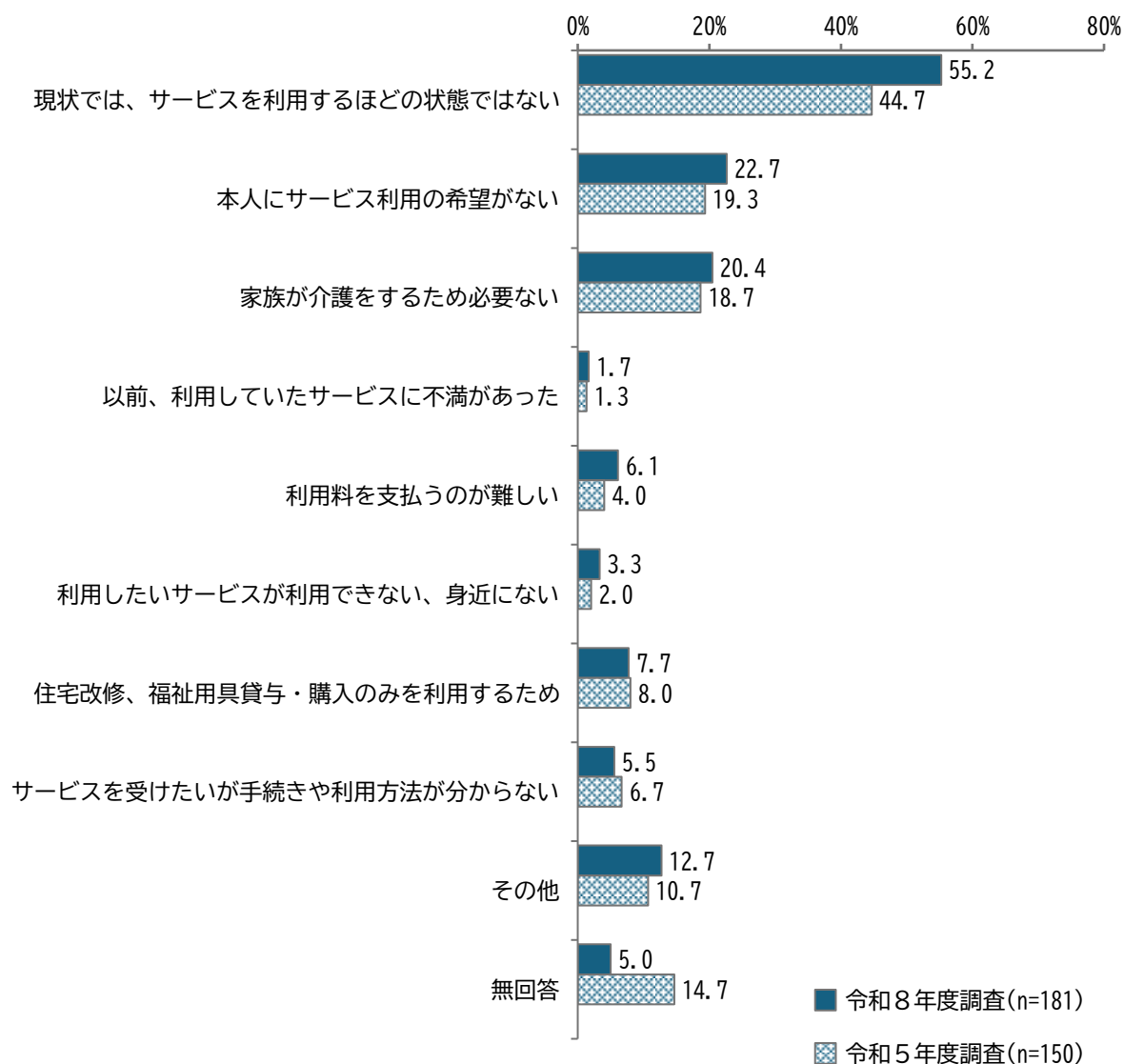
(14) 介護保険サービスを利用しない理由

問 14

問 13 で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）

介護保険サービスを利用しない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 55.2%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 22.7%、「家族が介護をするため必要ない」が 20.4%と続いています。

令和 5 年度調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 10.5 ポイント増加、「本人にサービス利用の希望がない」が 3.4 ポイント増加しています。



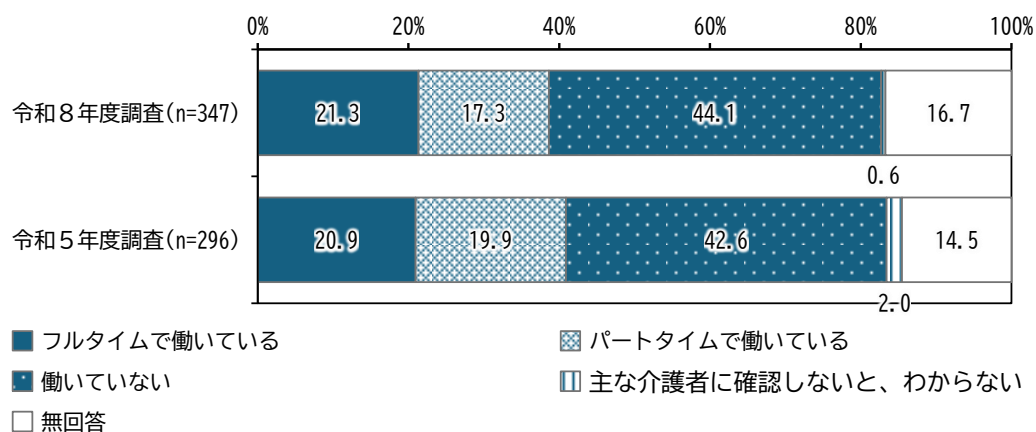
2. B票（主な介護者）

（1）主な介護者の現在の勤務形態

問 1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○は1つ）

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が44.1%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が21.3%、「パートタイムで働いている」が17.3%と続いています。

令和5年度調査と比較すると、「働いていない」が1.5ポイント増加、「パートタイムで働いている」が2.6ポイント減少しています。

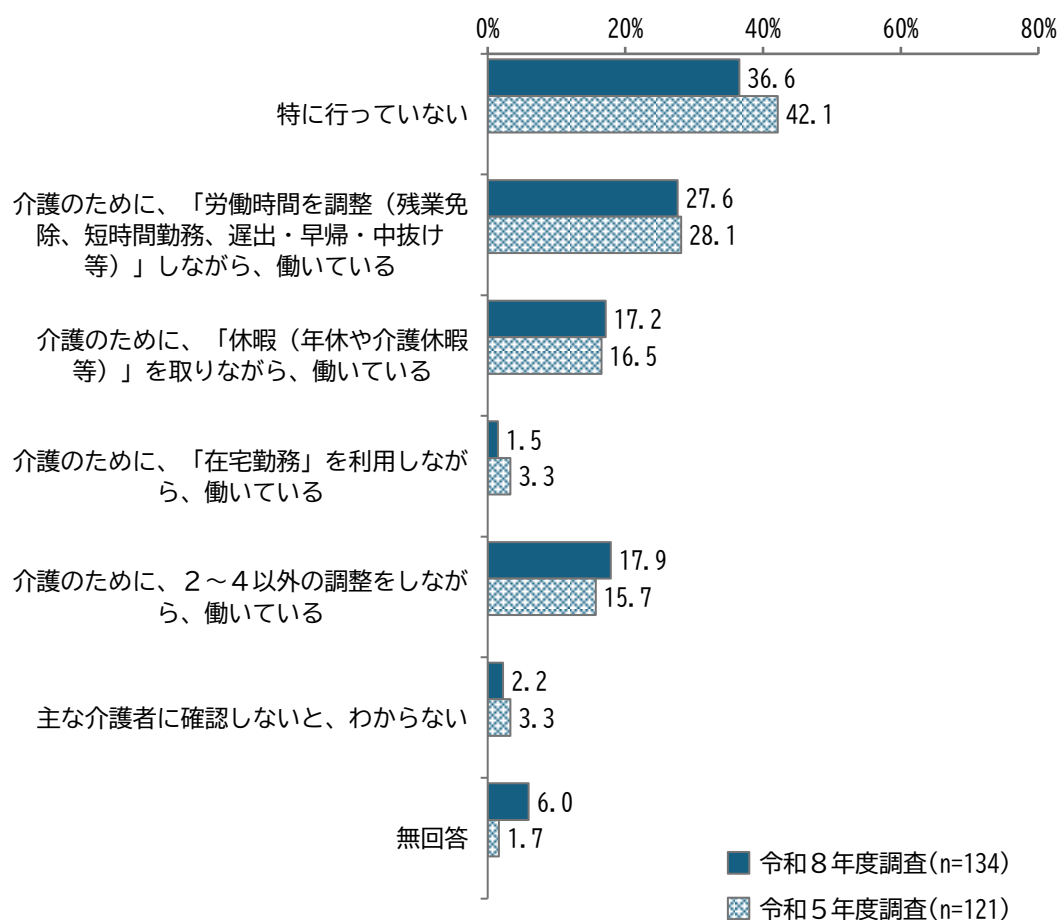


(2) 介護をするにあたっての働き方の調整

問 2	問 1 で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(○はいくつでも)
-----	--

介護をするにあたっての働き方の調整については、「特に行っていない」が 36.6%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 27.6%、「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」が 17.9%と続いています。

令和 5 年度調査と比較すると、「特に行っていない」が 5.5 ポイント減少、「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」が 2.2 ポイント増加しています。

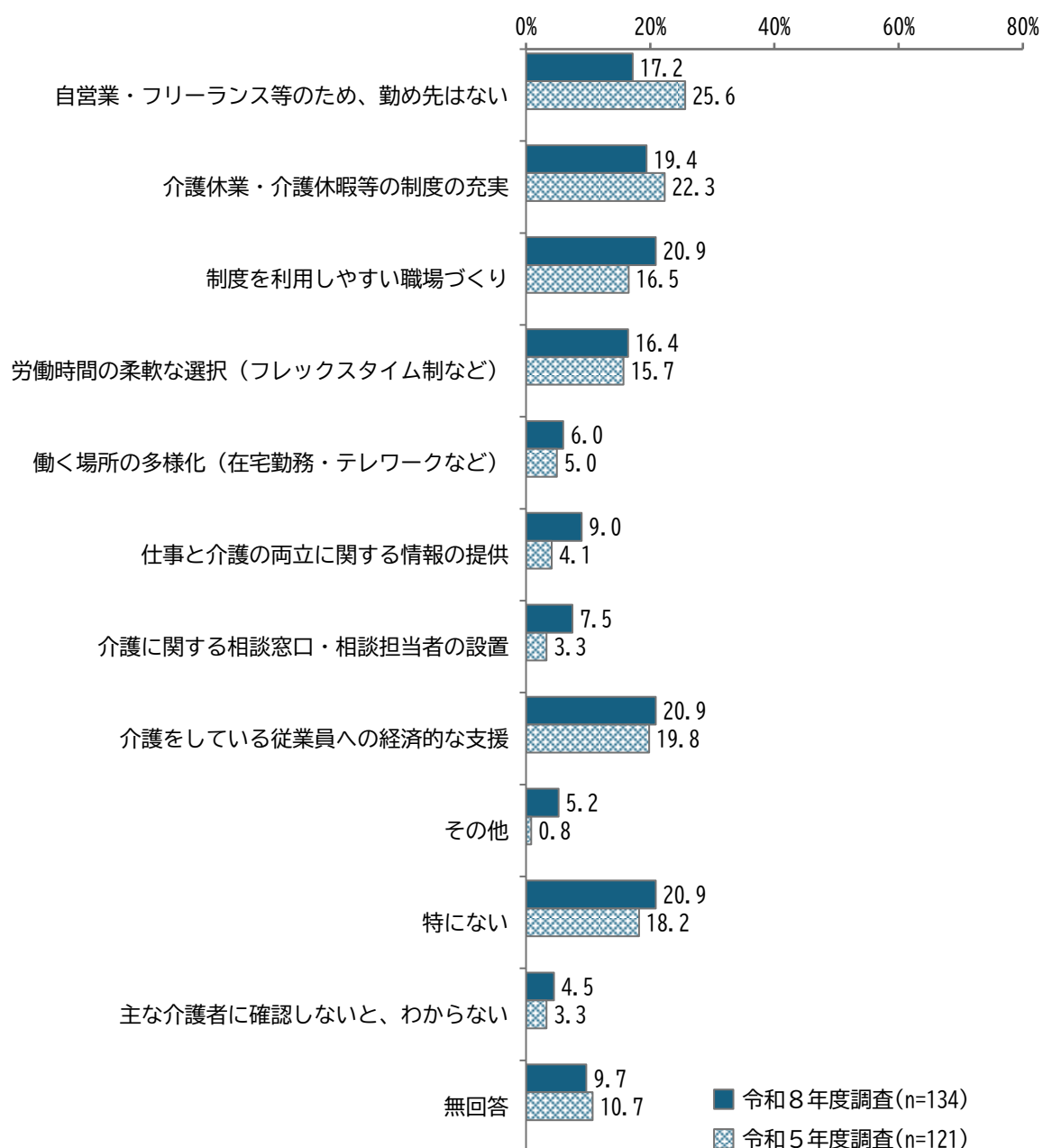


（３）仕事と介護の両立に効果的だと思われる勤め先からの支援

問 3	問 1 で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（〇は3つまで）
-----	---

仕事と介護の両立に効果的だと思われる勤め先からの支援については、「制度を利用しやすい職場づくり」・「介護をしている従業員への経済的な支援」・「特にない」が 20.9%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 19.4%と続いています。

令和 5 年度調査と比較すると、「制度を利用しやすい職場づくり」が 4.4 ポイント増加、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が 8.4 ポイント減少しています。

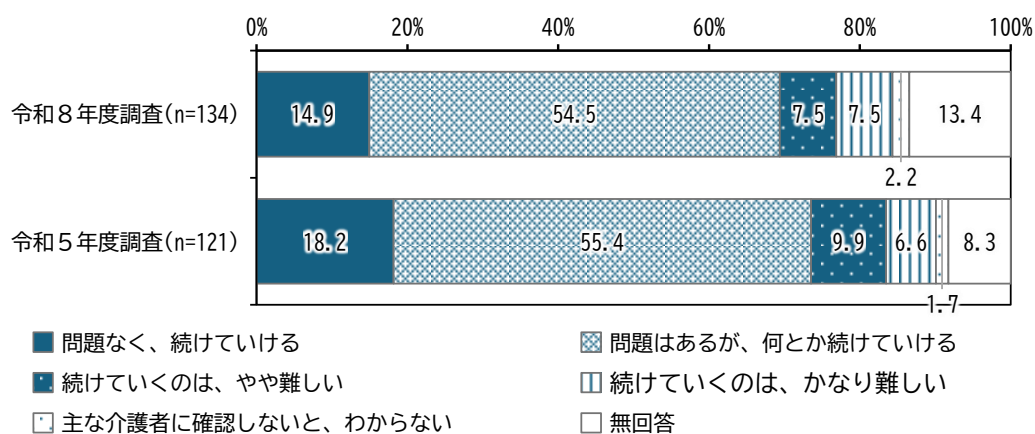


(4) 仕事と介護の両立の今後の見通し

問 4	問 1 で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）
-----	---

仕事と介護の両立の今後の見通しについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が 54.5% で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が 14.9%、「続けていくのは、やや難しい」が 7.5% と続いています。

令和 5 年度調査と比較すると、「続けていくのは、かなり難しい」が 0.9 ポイント増加、「問題なく、続けていける」が 3.3 ポイント減少しています。

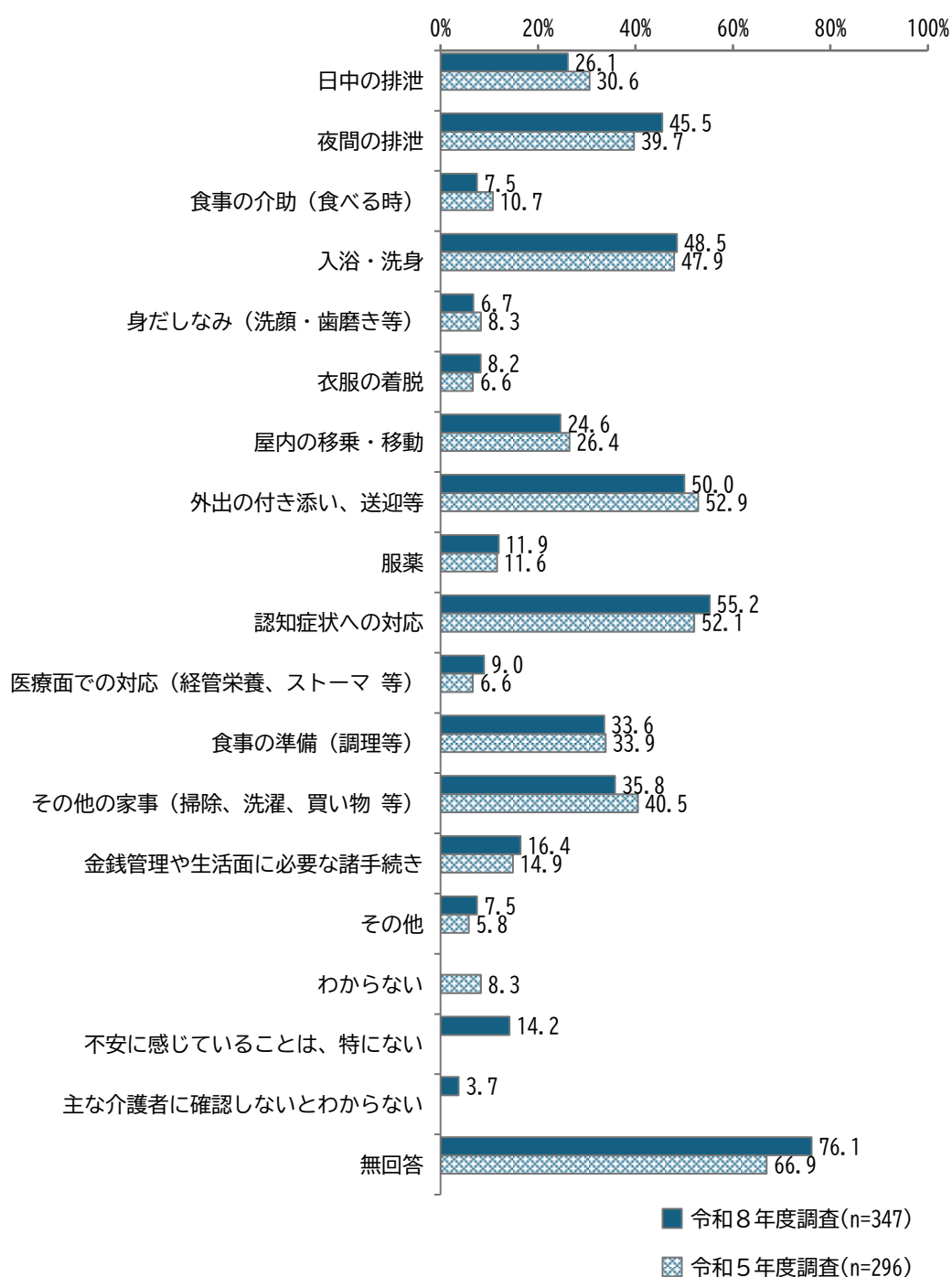


（５）生活を継続していくにあたり介護者が不安に感じる介護等について

問 5	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）
-----	--

生活を継続していくにあたり介護者が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が55.2%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が50.0%、「入浴・洗身」が48.5%と続いています。

令和5年度調査と比較すると、「夜間の排泄」が5.8ポイント増加、「認知症状への対応」が3.1ポイント増加、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が4.7ポイント減少しています。



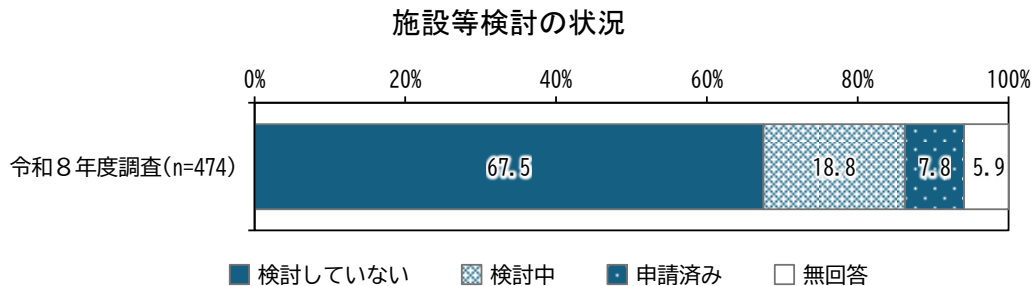
※「わからない」は令和8年度調査より削除

※「不安に感じていることは特にな」「主な介護者に確認しないとわからない」は令和8年度調査より追加
 令和8年度調査より追加

3. 在宅限界点の向上に向けた支援・サービスの検討

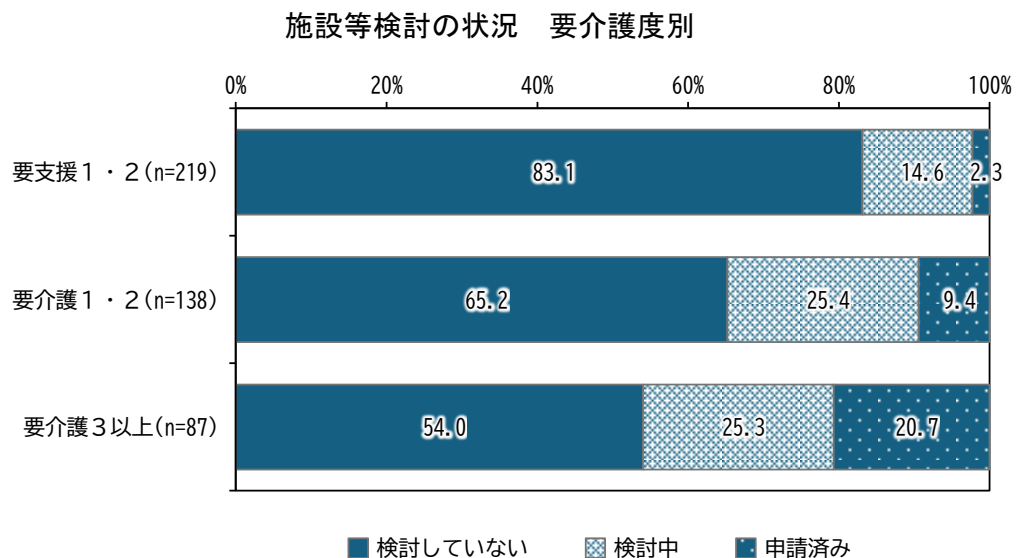
(1) 施設等への入所・入居の検討状況

施設等への入所・入居の検討状況については、「検討していない」が67.5%で最も高く、次いで「検討中」が18.8%、「申請済み」が7.8%と続いています。

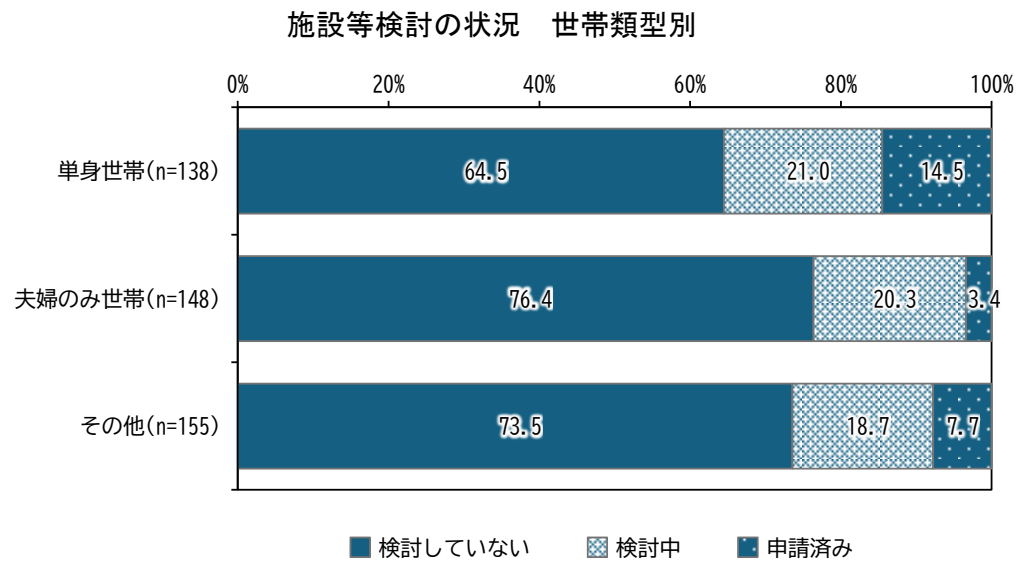


施設等への入所・入居の検討状況について、要介護度別にみると、要介護度が上がるにつれて「検討していない」の割合が低くなっており、要介護度3以上では54.0%となっています。

また、「検討中」では、要介護1・2が25.4%で最も高くなっています。



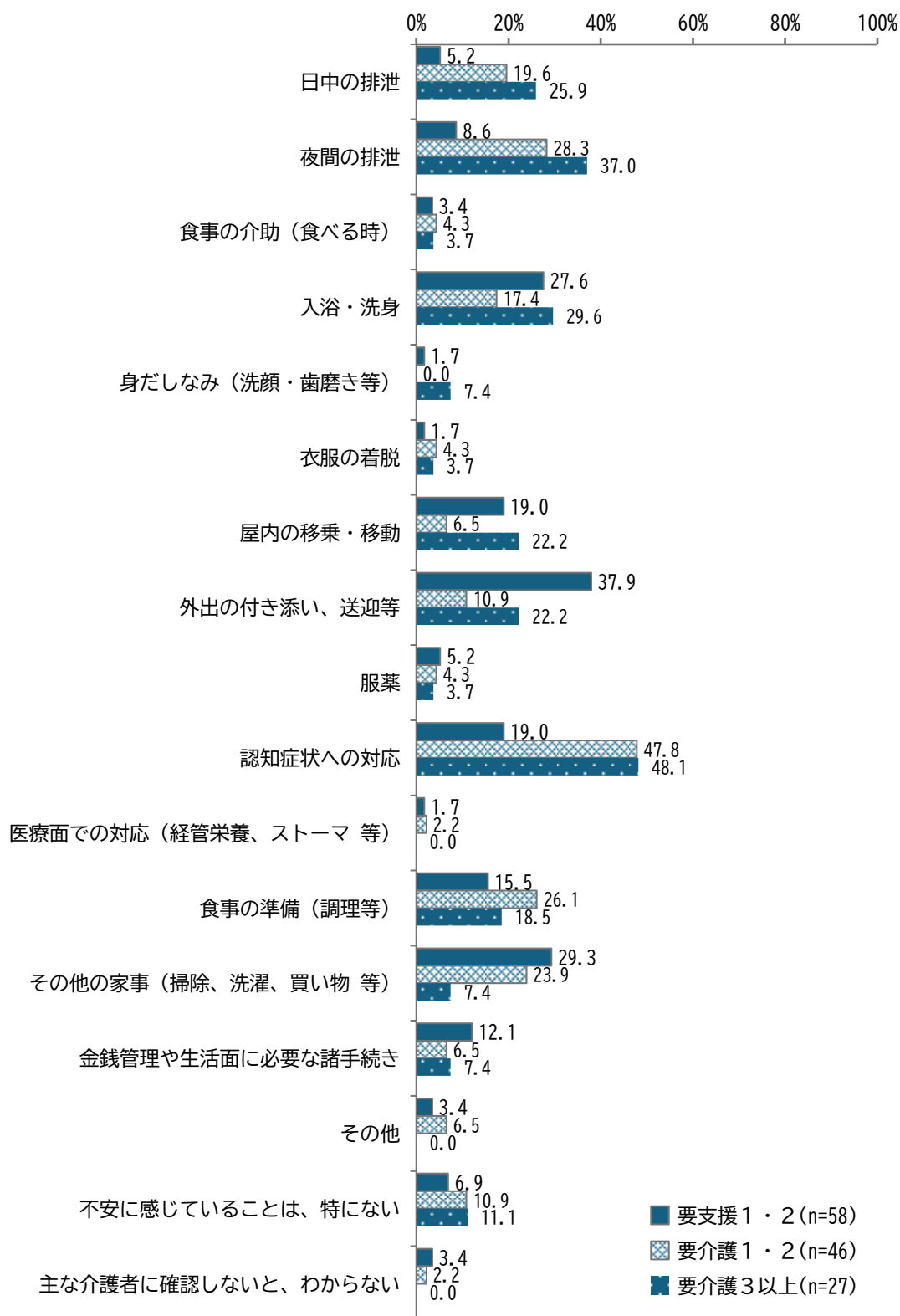
施設等への入所・入居の検討状況について、世帯類型別にみると、「検討していない」では、夫婦のみ世帯が 76.4%で最も高く、「検討中」では、単身世帯が 21.0%で最も高くなっています。



（２）要介護度・認知症自立度の重度化に伴う主な介護者が不安に感じる介護

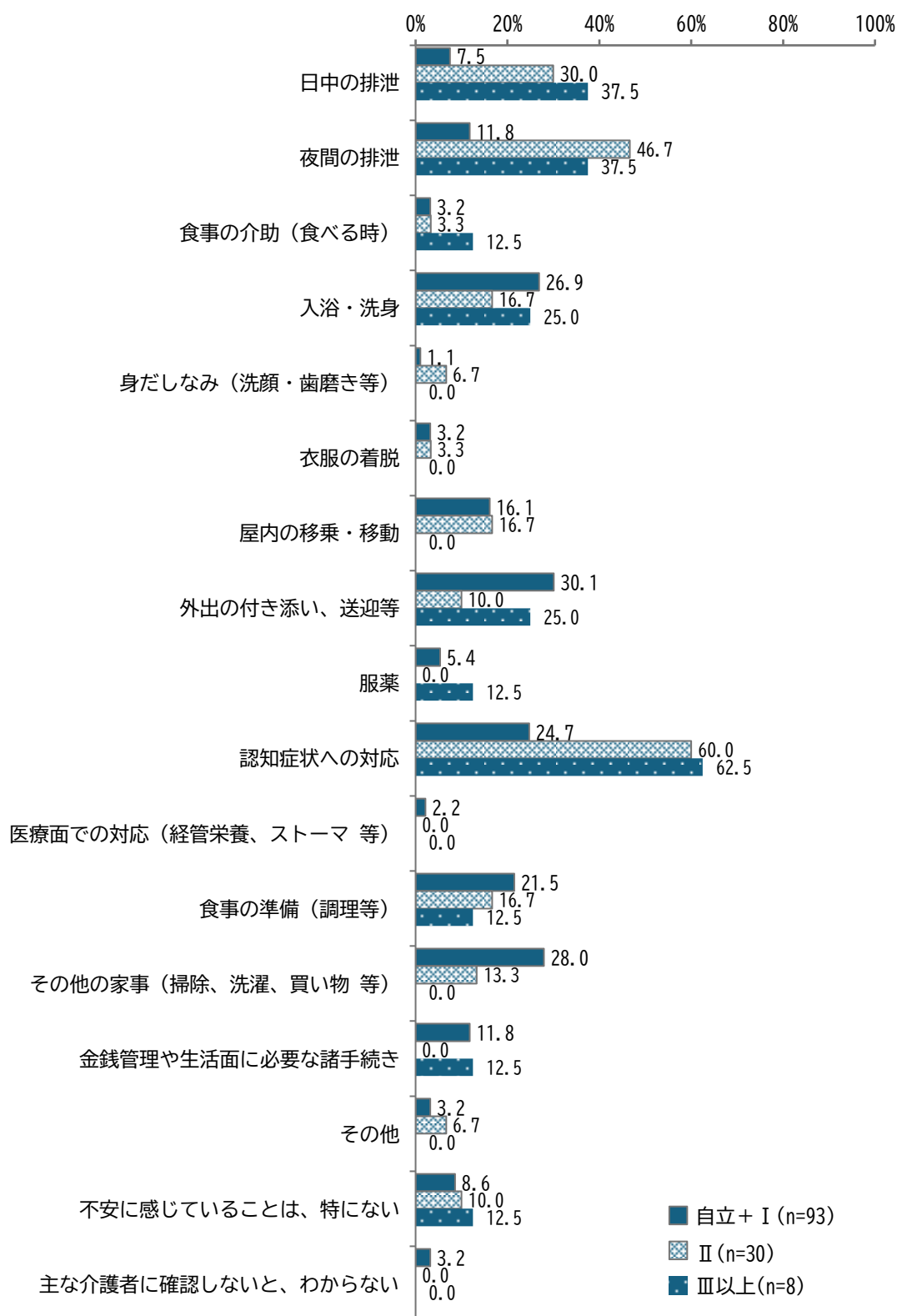
現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護について、要介護度別にみると、要支援１・２では「外出の付き添い、送迎等」が３７．９％で最も高くなっています。要介護１・２では「認知症状への対応」が４７．８％で最も高くなっています。要介護３以上では「認知症状への対応」が４８．１％で最も高くなっています。

介護者が不安に感じる介護 要介護度別



現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護について、認知症自立度別にみると、自立+認知症自立度Ⅰでは「外出の付き添い・送迎等」が30.1%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅱでは、「認知症状への対応」が60.0%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅲ以上では、「認知症状への対応」が62.5%で最も高くなっています。

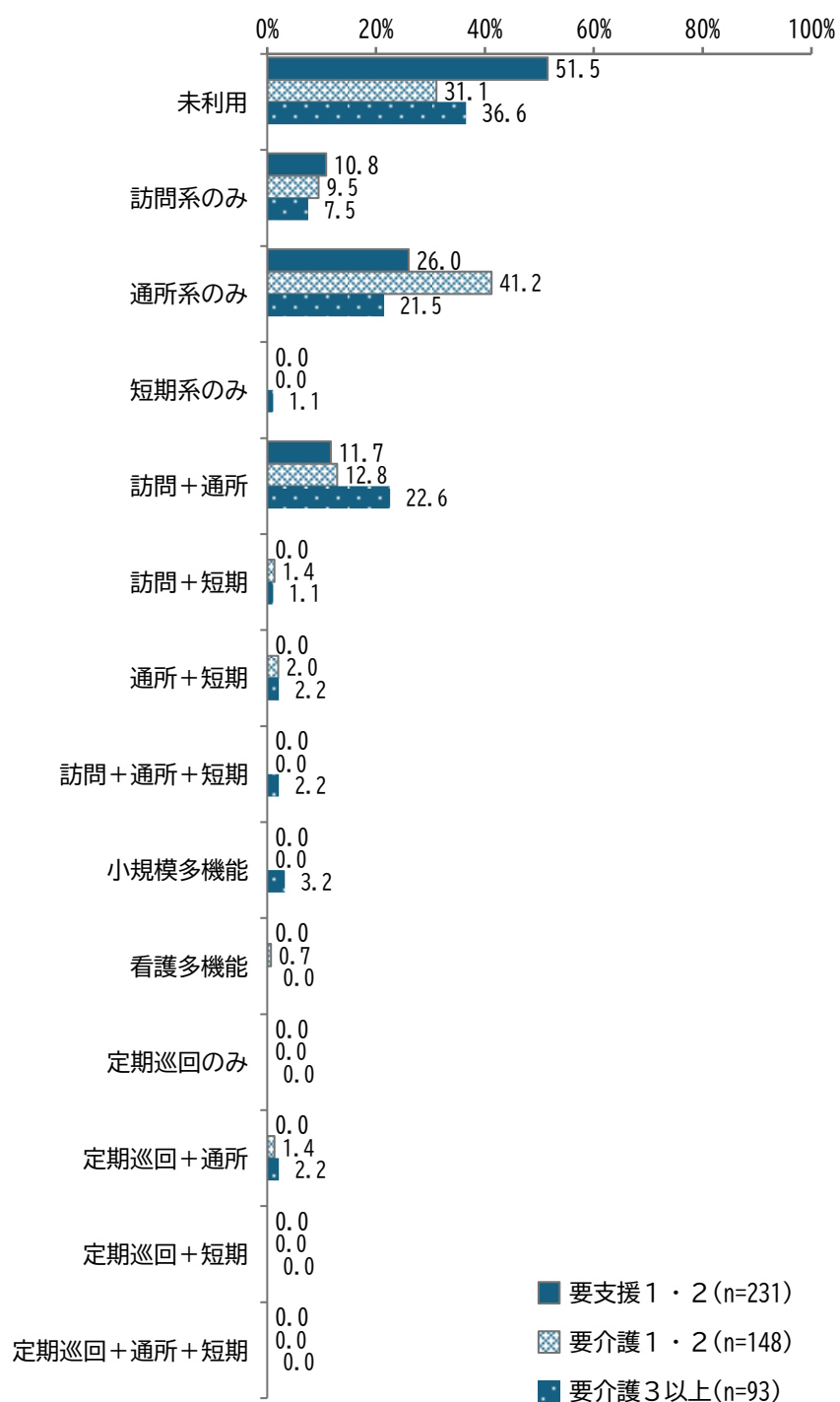
介護者が不安に感じる介護 認知症自立度別



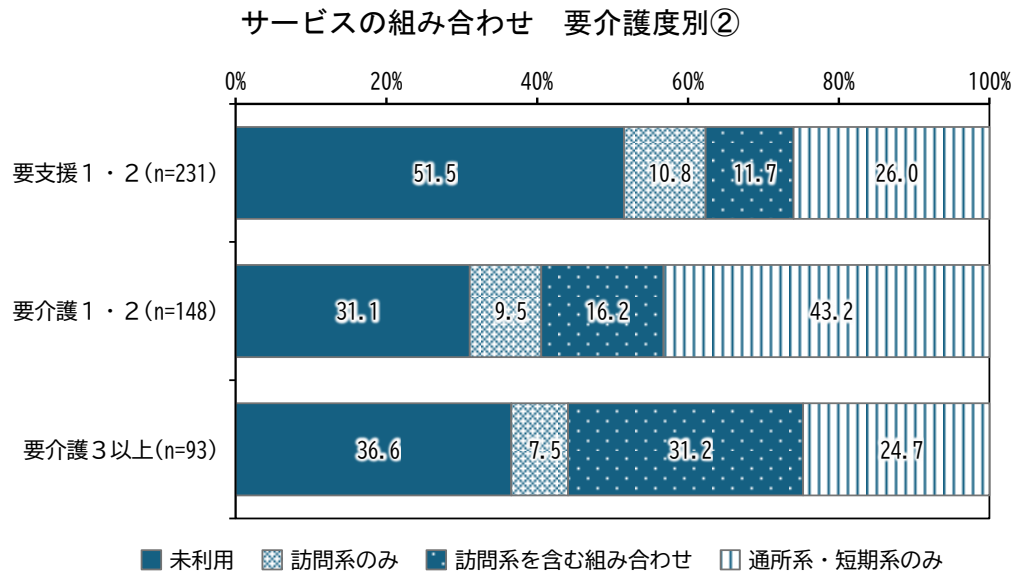
（３）要介護度・認知症自立度重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

サービス利用の組み合わせについて、要介護度別にみると、要支援１・２では「未利用」が 51.5% で最も高くなっています。要介護１・２では「通所系のみ」が 41.2% で最も高くなっています。要介護３以上では「未利用」が 36.6% で最も高くなっています。

サービス利用の組み合わせ 要介護度別①

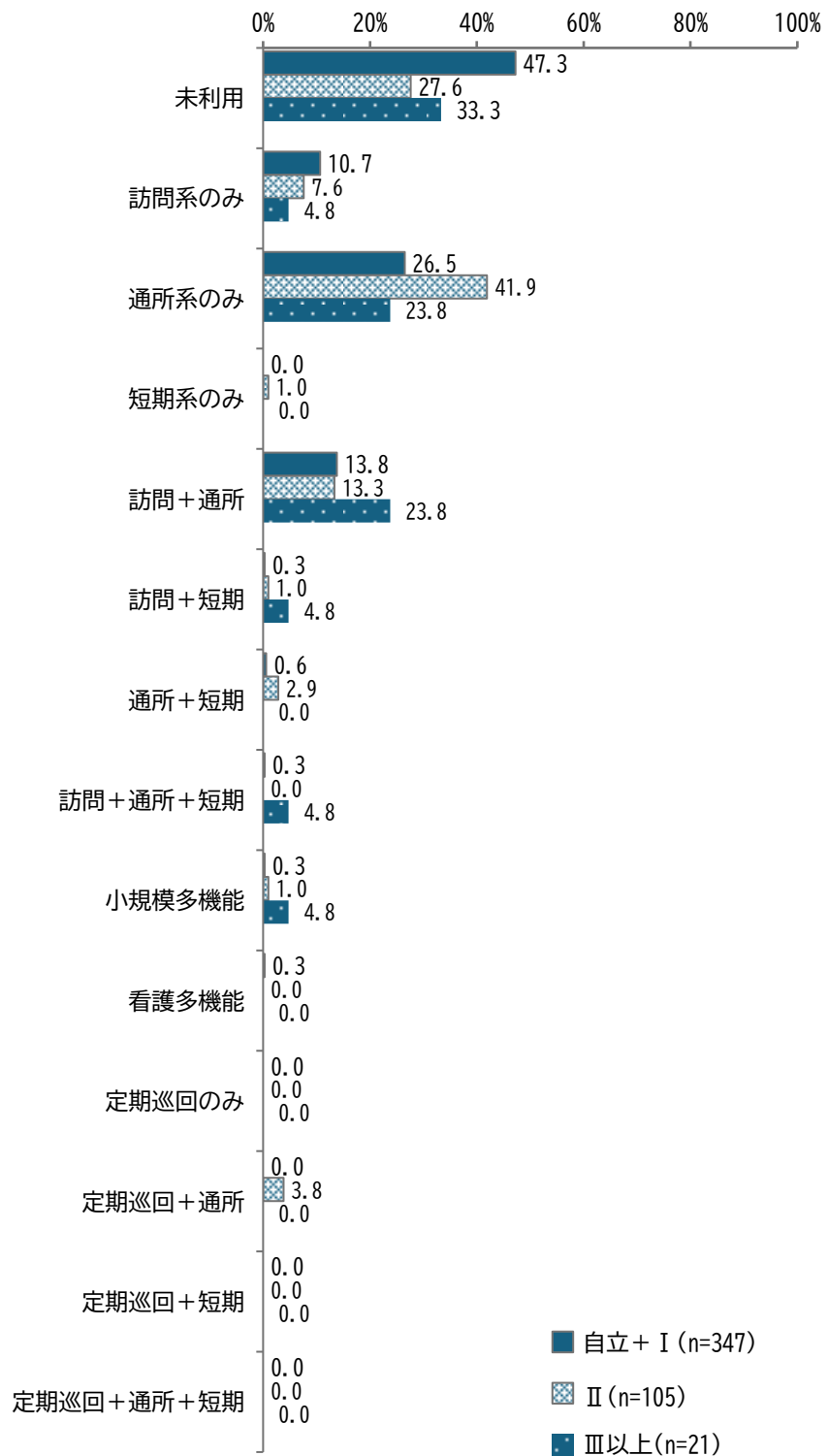


サービス利用の組み合わせ（訪問系のみ、訪問系を含む組み合わせ、通所系・短期系のみ）について、要介護度別にみると、要支援１・２では「未利用」が51.5%で最も高くなっています。要介護１・２では「通所系・短期系のみ」が43.2%で最も高くなっています。要介護３以上では「未利用」が36.6%で最も高くなっています。

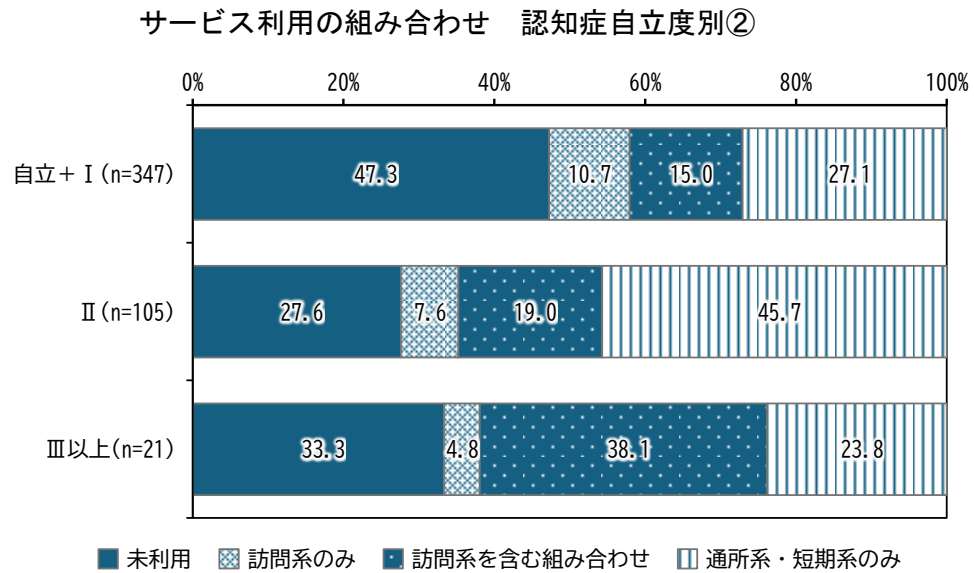


サービス利用の組み合わせについて、認知症自立度別にみると、自立+認知症自立度Ⅰでは「未利用」が47.3%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅱでは「通所系のみ」が41.9%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅲ以上では「未利用」が33.3%で最も高くなっています。

サービス利用の組み合わせ 認知症自立度別①



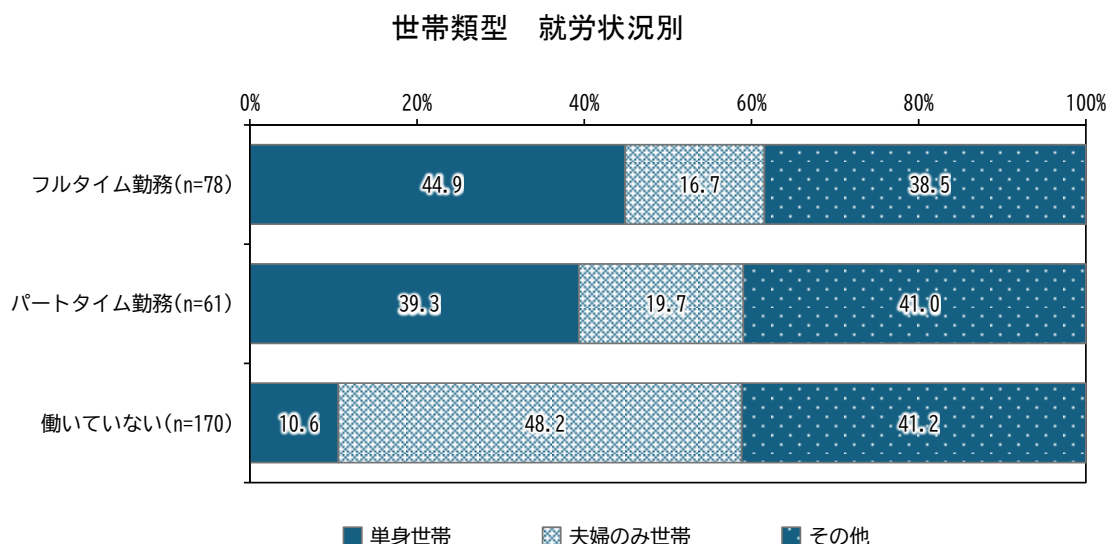
認知症自立度別に、サービス利用の組み合わせ（訪問系のみ、訪問系を含む組み合わせ、通所系・短期系のみ）についてみると、自立+認知症自立度Ⅰでは「未利用」が47.3%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅱでは「通所系・短期系のみ」が45.7%で最も高くなっています。認知症自立度Ⅲ以上では「訪問系を含む組み合わせ」が38.1%で最も高くなっています。



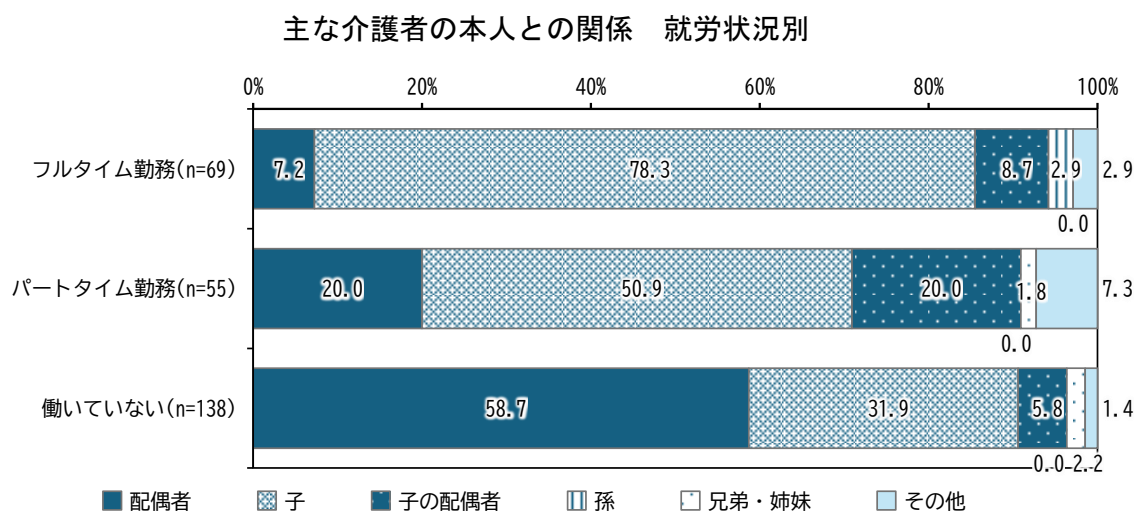
4. 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 就労状況別の基本属性

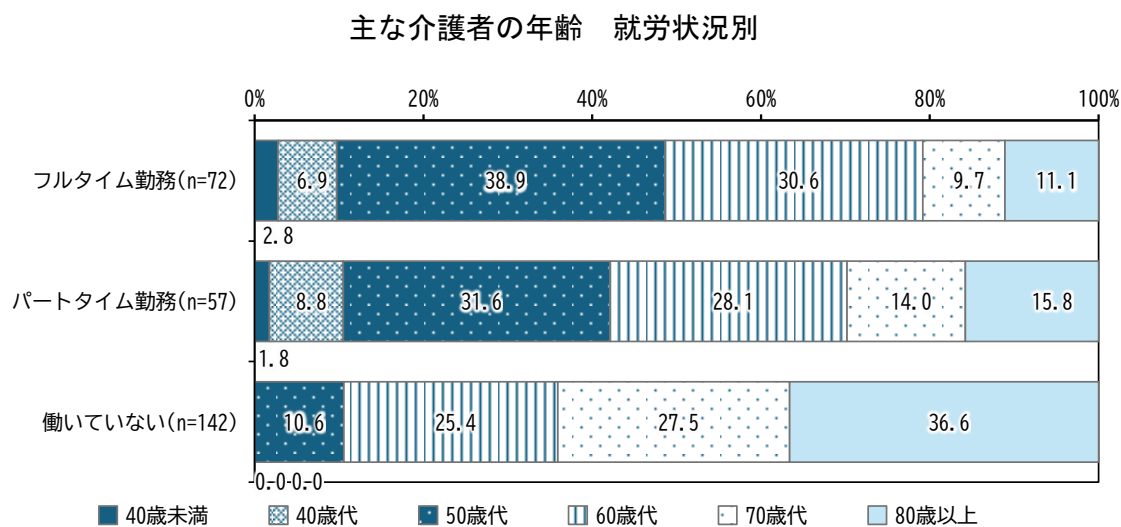
要介護者の世帯類型について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「単身世帯」が44.9%で最も高くなっています。パートタイム勤務では「その他」が41.0%で最も高くなっています。働いていないでは「夫婦のみ世帯」が48.2%で最も高くなっています。



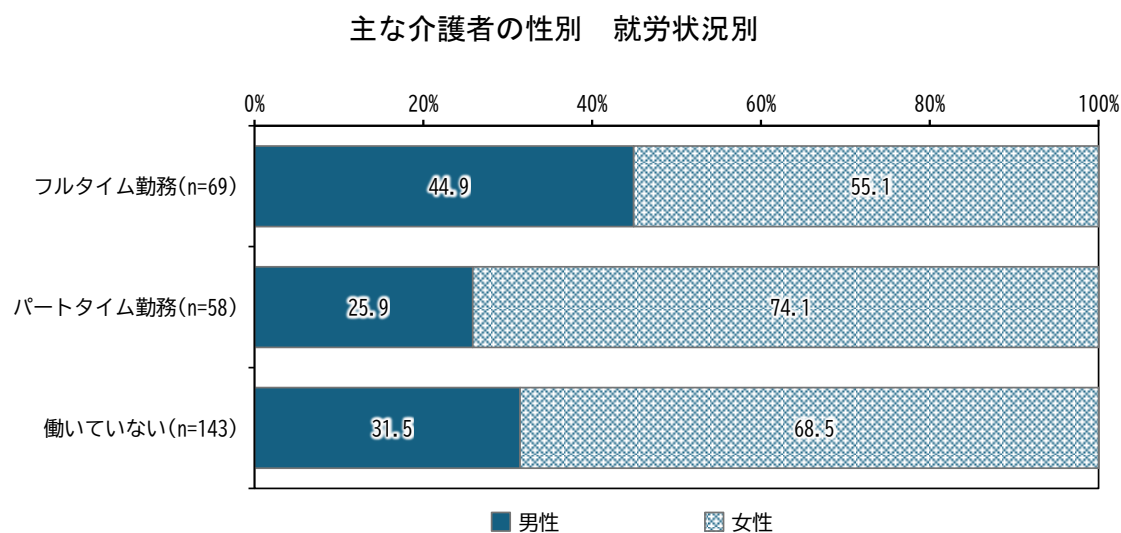
主な介護者の本人との関係について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「子」が78.3%で最も高くなっています。パートタイム勤務では「子」が50.9%で最も高くなっています。働いていないでは「配偶者」が58.7%で最も高くなっています。



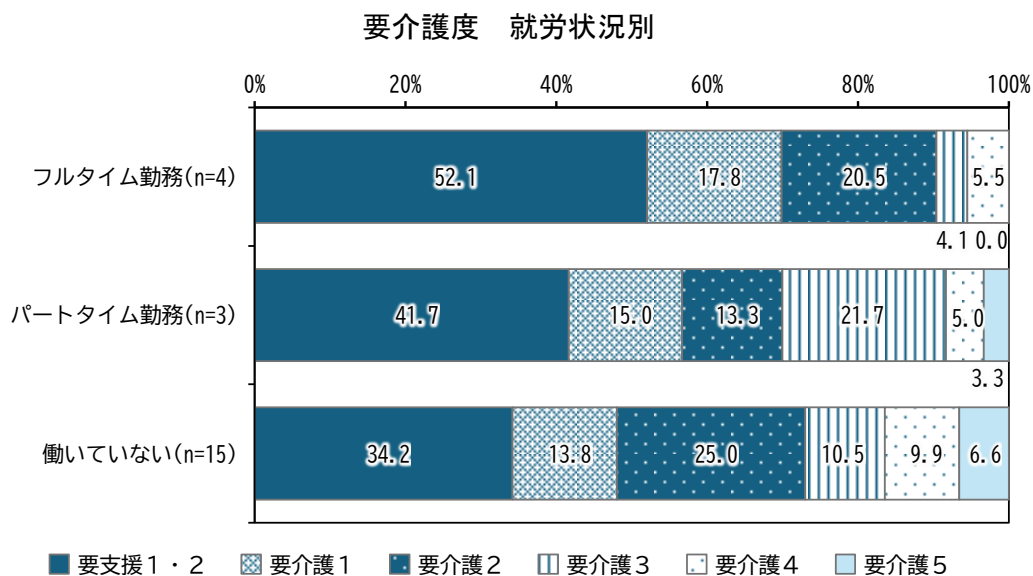
主な介護者の年齢について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「50 歳代」が 38.9%で最も高くなっています。パートタイム勤務では「50 歳代」が 31.6%で最も高くなっています。働いていないでは「80 歳以上」が 36.6%で最も高くなっています。



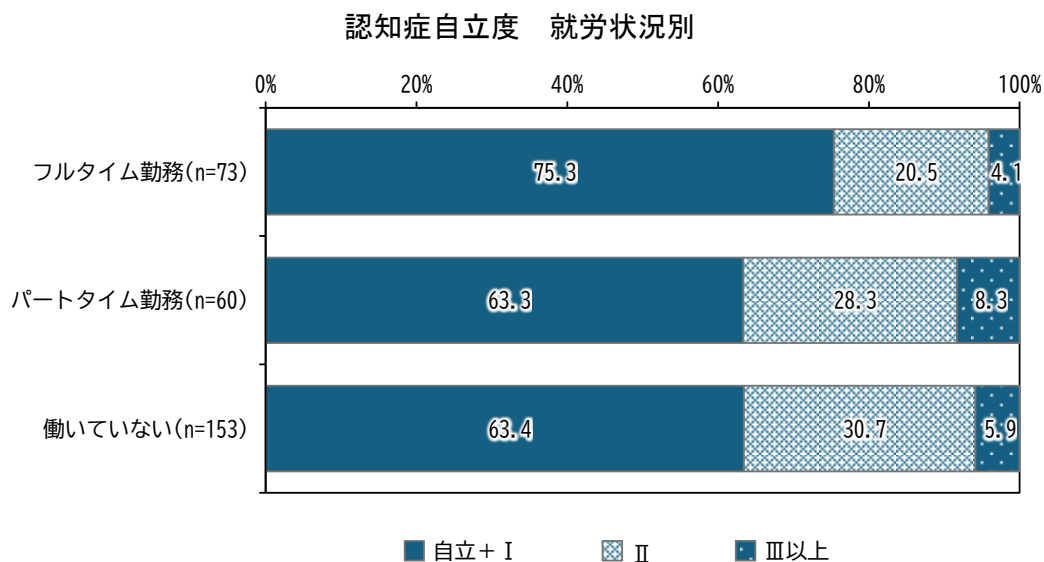
主な介護者の性別について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「男性」が 44.9%、「女性」が 55.1%となっています。パートタイム勤務では「男性」が 25.9%、「女性」が 74.1%となっています。働いていないでは「男性」が 31.5%、「女性」68.5%となっています。



要介護の要介護度について、主な介護者の就労状況別にみると、全ての就労状況で「要支援 1・2」が最も高く、フルタイム勤務では「要支援 1・2」が 52.1%となっています。

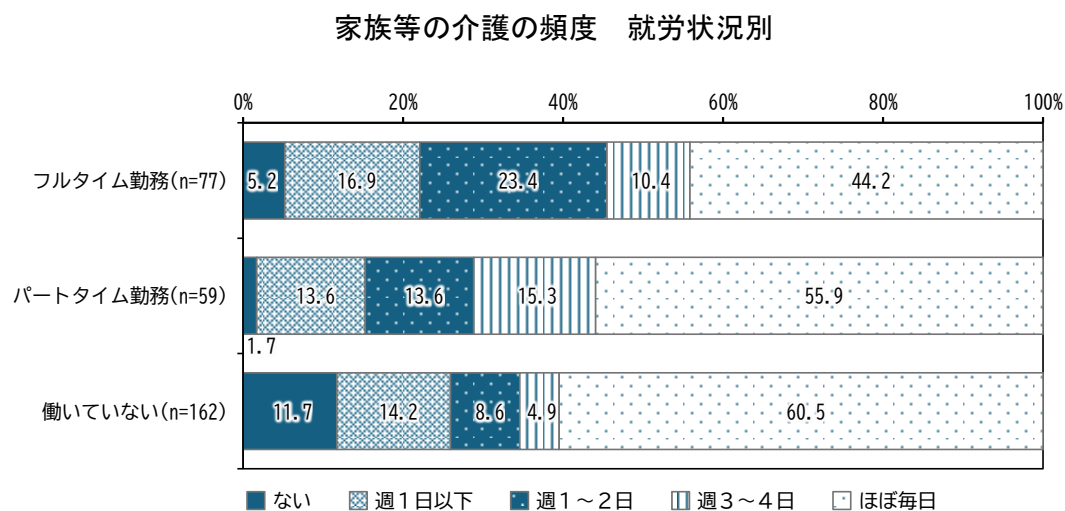


要介護者の認知症自立度について、主な介護者の就労状況別にみると、全ての就労状況で「自立＋認知症自立度Ⅰ」が最も高く、フルタイム勤務では 75.3%となっています。



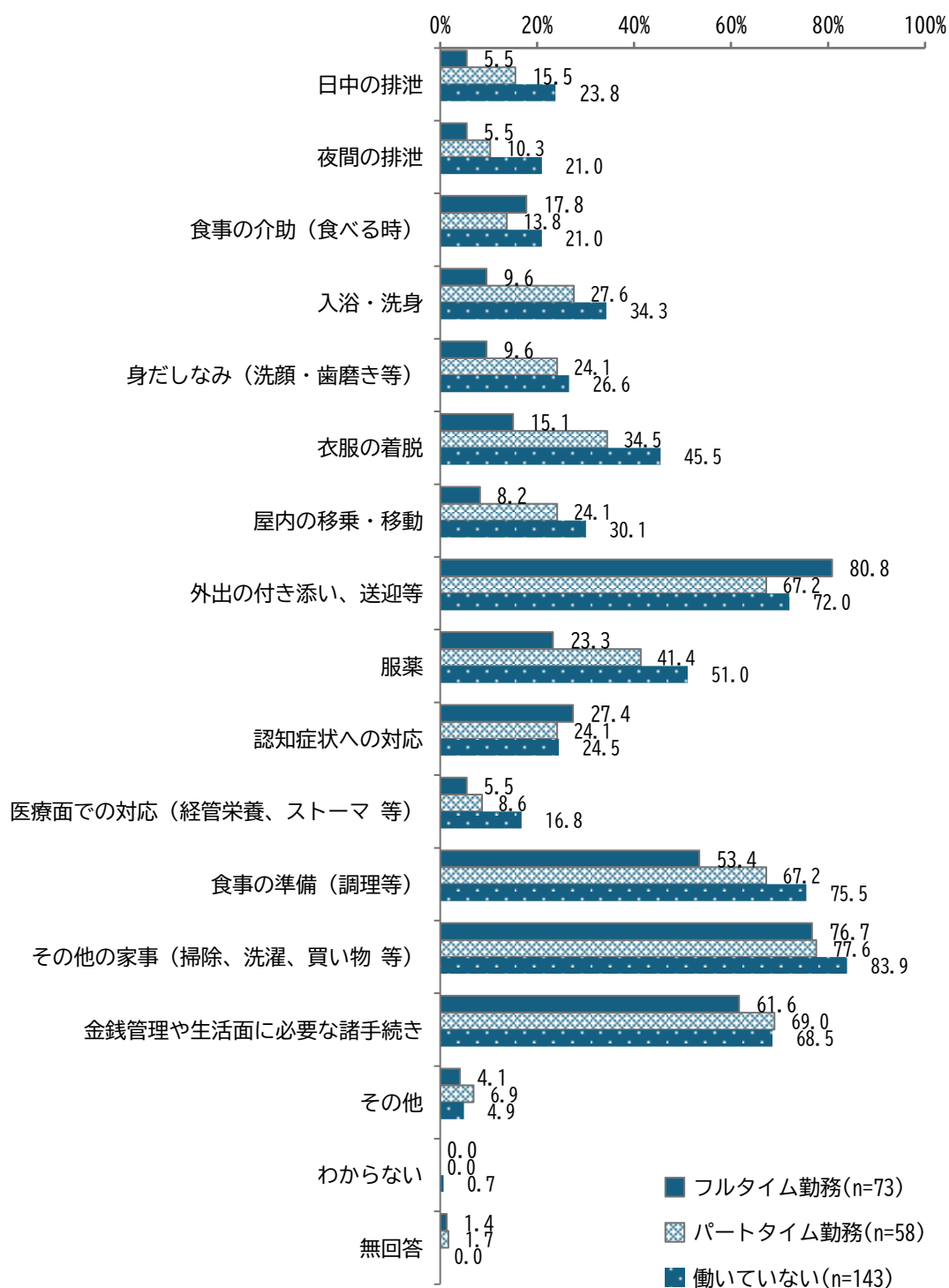
（２）就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

家族等の介護の頻度について、主な介護者の就労状況別みると、全ての就労状況で「ほぼ毎日」が最も高く、働いていないでは60.5%となっています。



主な介護者が行っている介護について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「外出の付き添い」が80.8%で最も高くなっています。パートタイム勤務では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が77.6%で最も高くなっています。働いていないでは「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が83.9%で最も高くなっています。

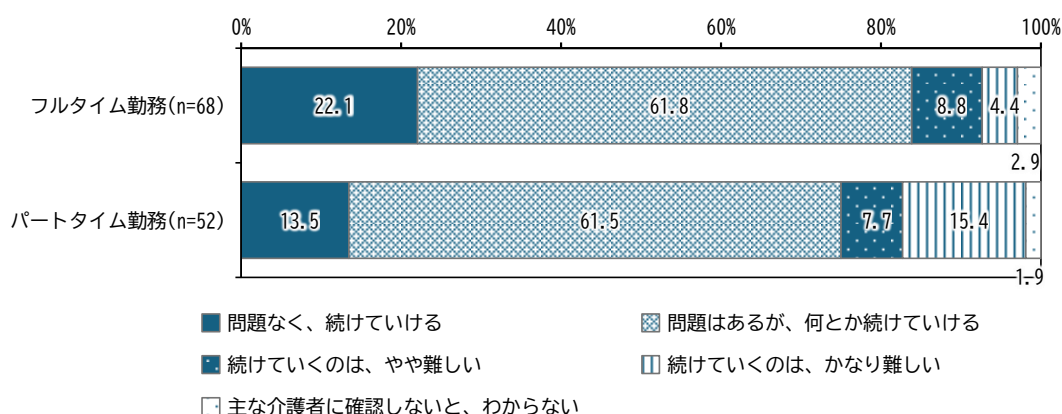
家族等の介護の頻度 就労状況別



今後の就労継続見込みについて、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務とパートタイム勤務いずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、フルタイム勤務では61.8%、パートタイム勤務では61.5%となっています。

また、『続けていくのが困難（「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計）』では、フルタイム勤務では13.2%、パートタイム勤務では23.1%となっています。

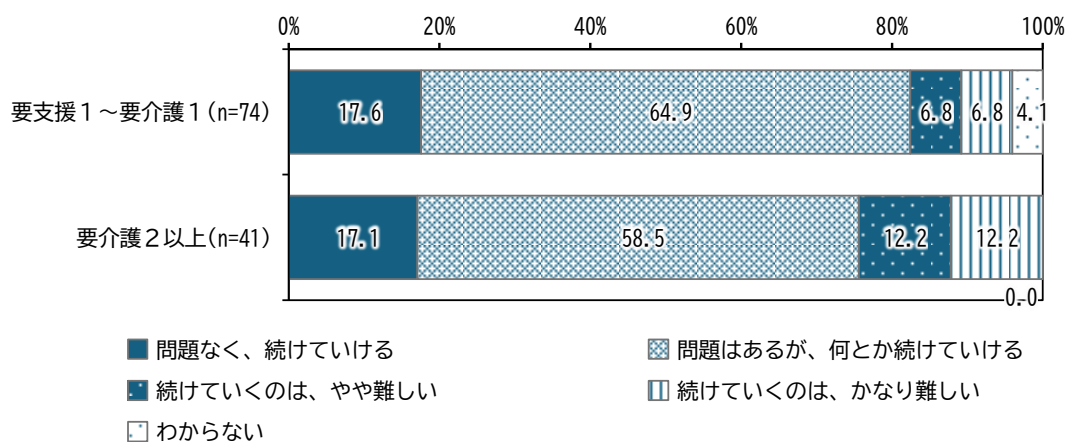
今後の就労継続見込み 就労状況別



今後の就労継続見込みについて、要介護度別にみると、要支援1～要介護1と要介護2以上のいずれも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、要支援1～要介護1では64.9%、要介護2以上では58.5%となっています。

また、『続けていくのが困難（「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計）』では、要支援1～要介護1では13.6%、要介護2以上では24.4%となっています。

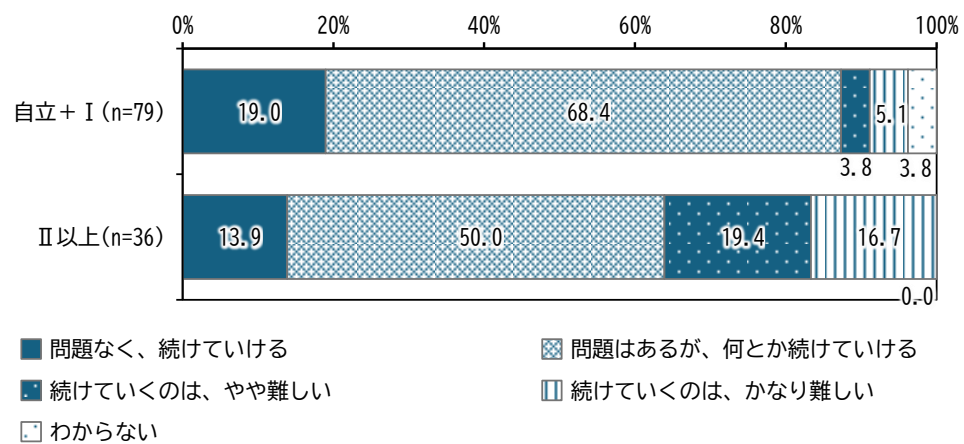
今後の就労継続見込み（フルタイム勤務＋パートタイム勤務） 要介護度別



今後の就労継続見込みについて、認知症自立度別にみると、自立+認知症自立度Ⅰと認知症自立度Ⅱ以上のいずれも「問題はあるが」、何とか続けていける」が最も高く、自立+認知症自立度Ⅰでは68.4%、認知症自立度Ⅱ以上では50.0%となっています。

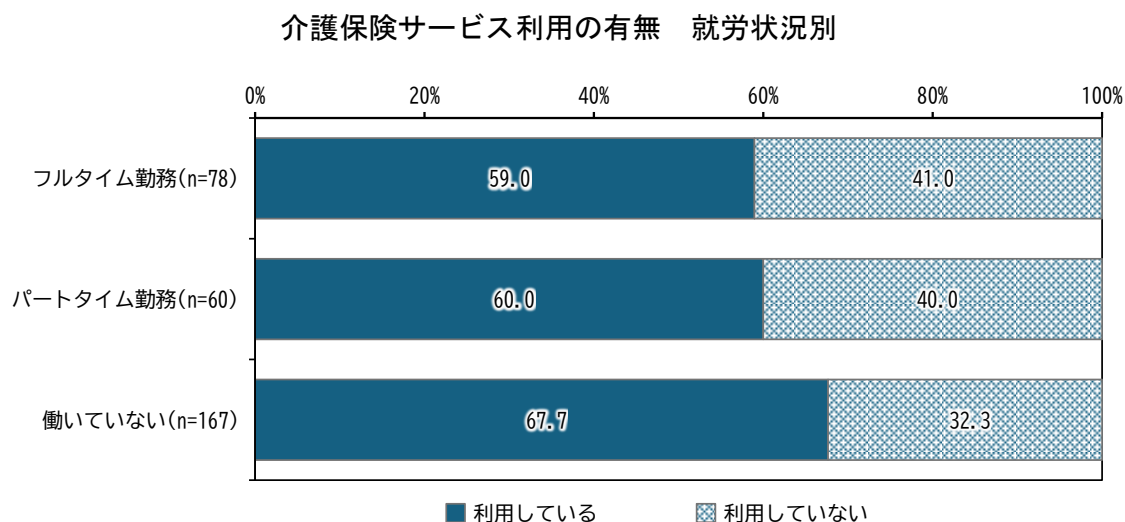
また、『続けていくのが困難（「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計）』では、自立+認知症自立度Ⅰでは8.9%、認知症自立度Ⅱ以上では36.1%となっています。

今後の就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務） 認知症自立度別



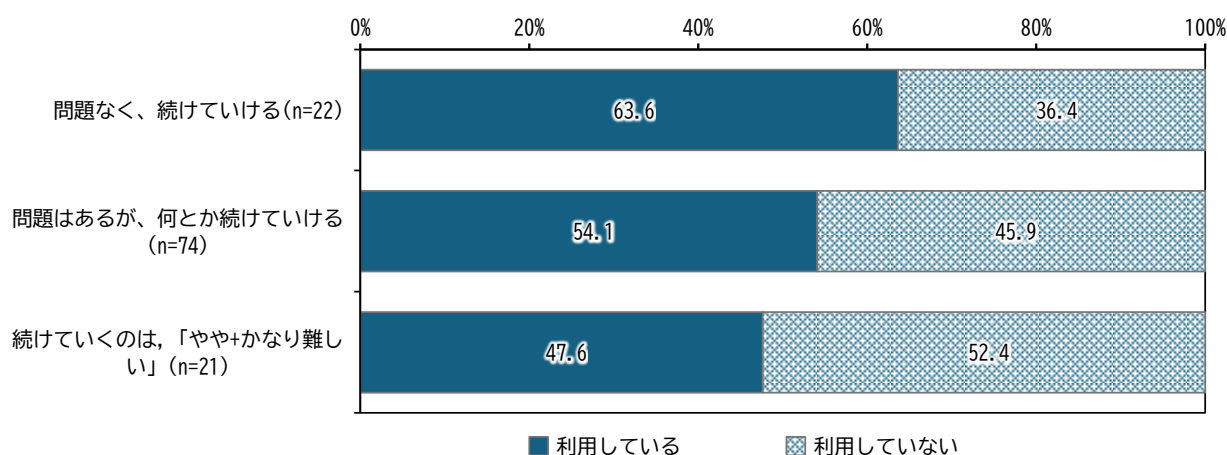
（３）介護保険サービスの利用状況

介護保険サービスの利用状況について、主な介護者の就労状況別にみると、「利用している」割合はフルタイム勤務が 59.0%、パートタイム勤務が 60.0%、働いていないが 67.7%となっています。



介護保険サービスの利用状況について、就労継続見込み別にみると、「利用している」割合は問題なく、続けていけるが 63.6%、問題はあるが、何とか続けていけるが 54.1%、続けていくのは「やや+かなり難しい」が 47.6%となっています。

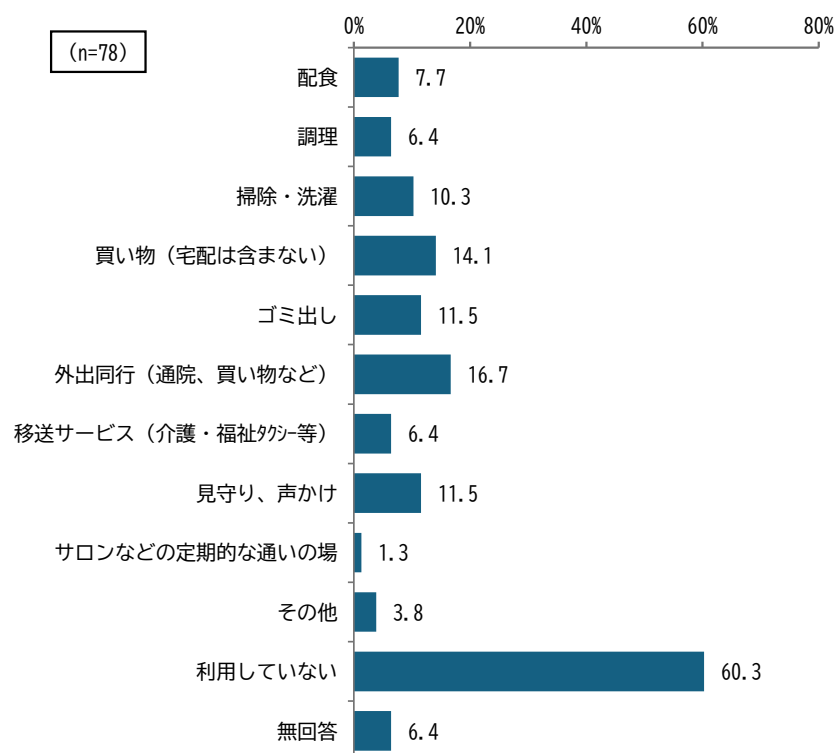
介護保険サービス利用の有無 就労継続見込み別（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



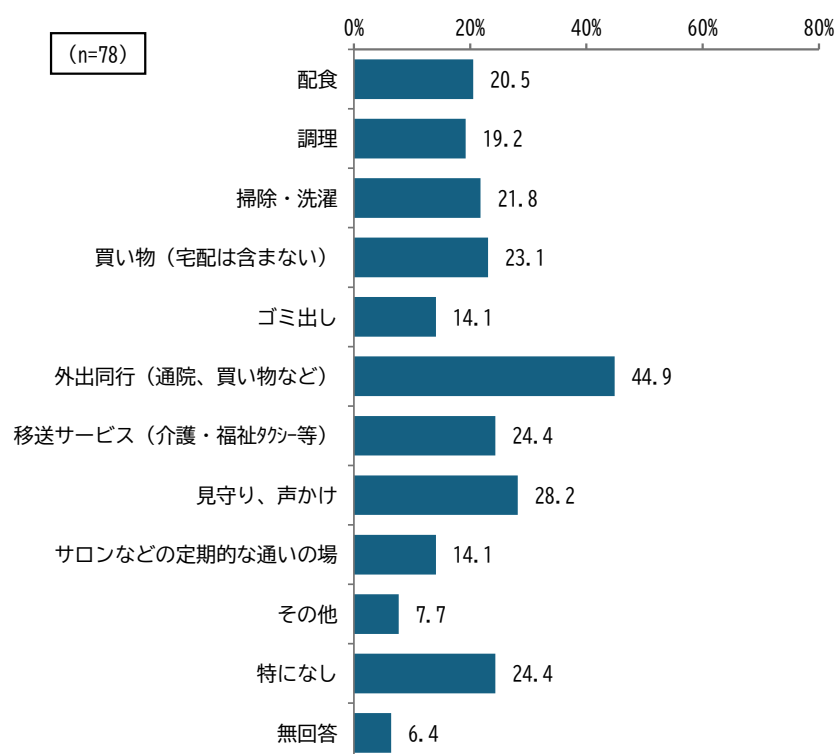
（４）就労状況別の保険外の支援・サービスの利用状況と施設等検討の状況

フルタイム勤務の方が利用している「保険外の支援・サービス」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」の差を見ると、多くの生活支援サービスで、必要と感じているのに、利用している割合が低い状況となっています。

利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）

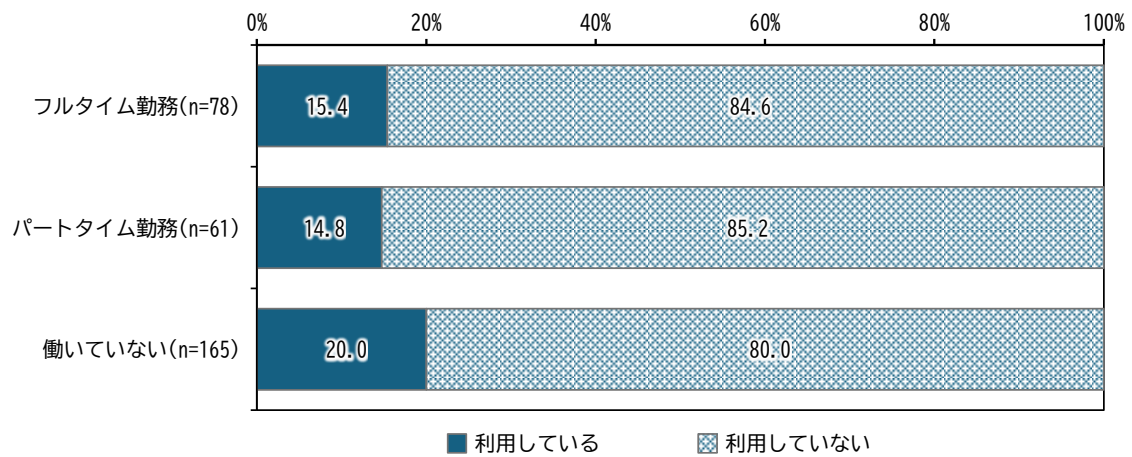


在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）



訪問診療の利用の有無について、主な介護者の就労状況別にみると、「利用している」割合はフルタイム勤務が 15.4%、パートタイム勤務が 14.8%、働いていないが 20.0%となっています。

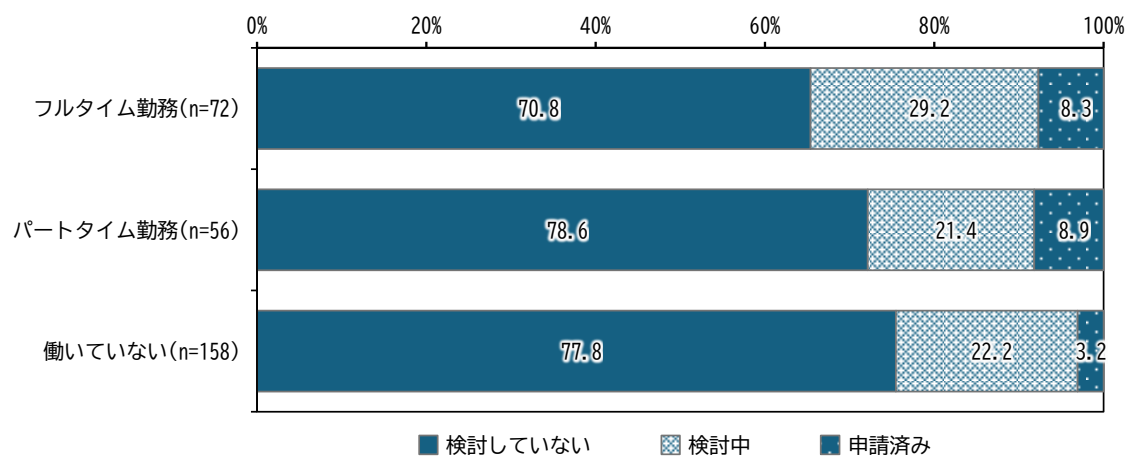
訪問診療の利用の有無 就労状況別



施設等検討の状況について、主な介護者の就労状況別にみると、全ての就労状況で「検討していない」が最も高く、フルタイム勤務では 70.8%、パートタイム勤務では 78.6%、働いていないでは 77.8%となっています。

また、「検討中」では、フルタイム勤務が 29.2%、パートタイム勤務が 21.4%、働いていないが 22.2%となっています。

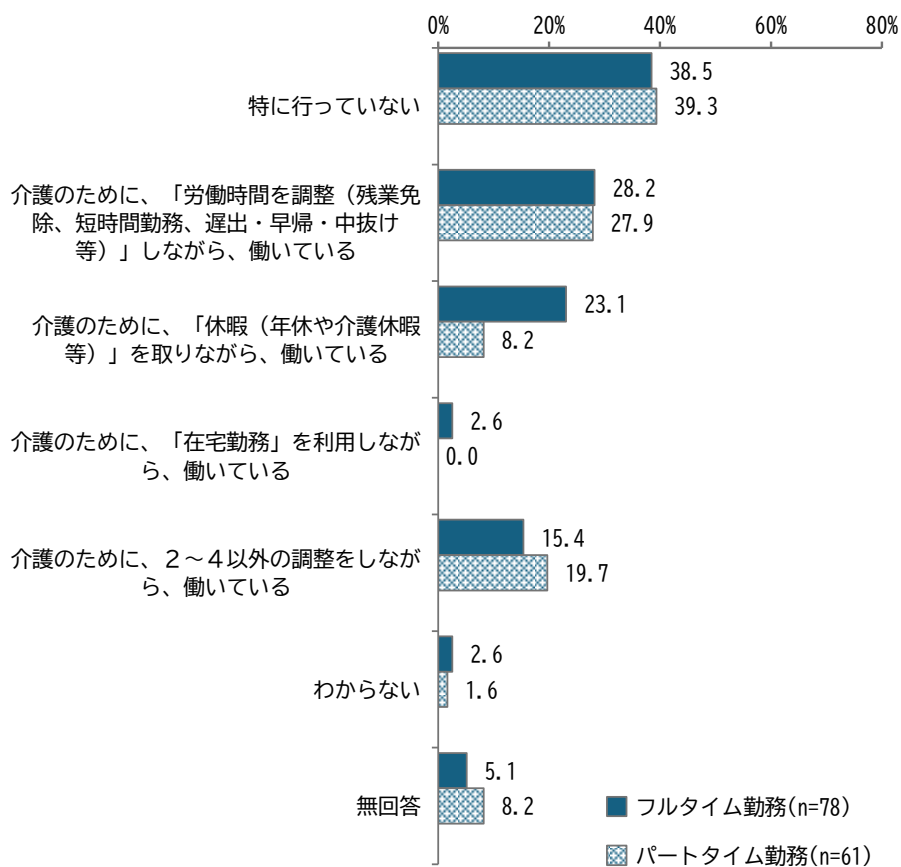
施設等検討の状況 就労状況別



（５）就労状況別の介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

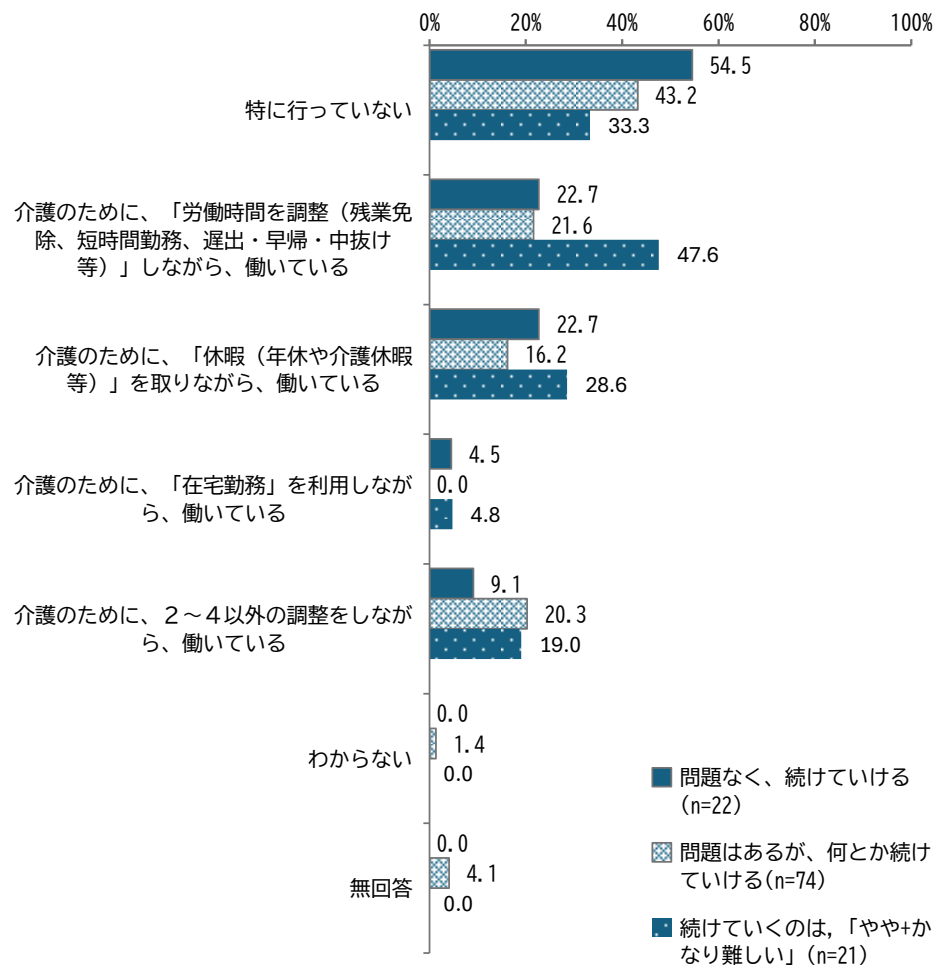
介護のための働き方の調整について、主な介護者の就労状況別でみると、全ての就労状況で「特に行っていない」が最も高く、フルタイム勤務では 38.5%、パートタイム勤務では 39.3%となっています。

介護のための働き方の調整 就労状況別



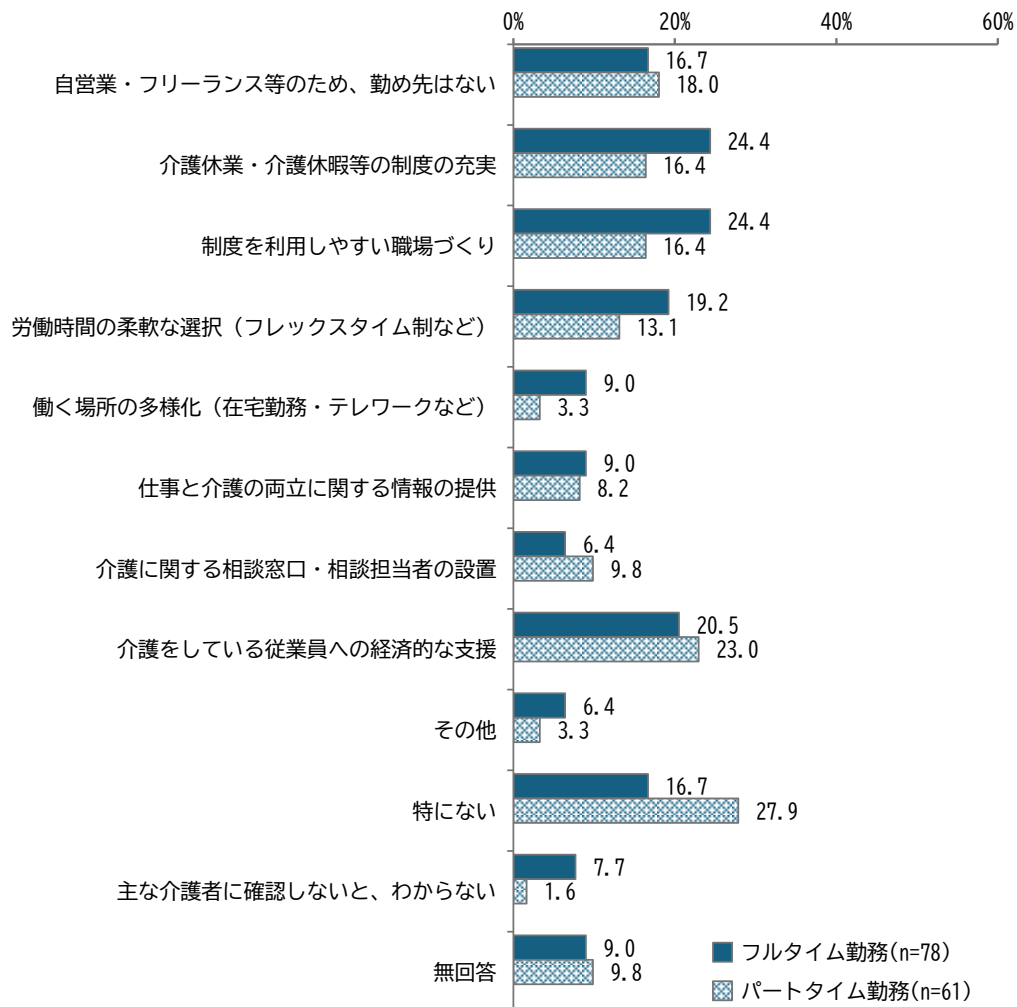
介護のための働き方の調整について就労継続見込み別でみると、問題なく、続けていけるでは「特に行っていない」が54.5%で最も高くなっています。問題はあるが、何とか続けていけるでは「特に行っていない」が43.2%で最も高くなっています。続けていくのは「やや+かなり難しい」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が47.6%で最も高くなっています。

介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務） 就労継続見込み別



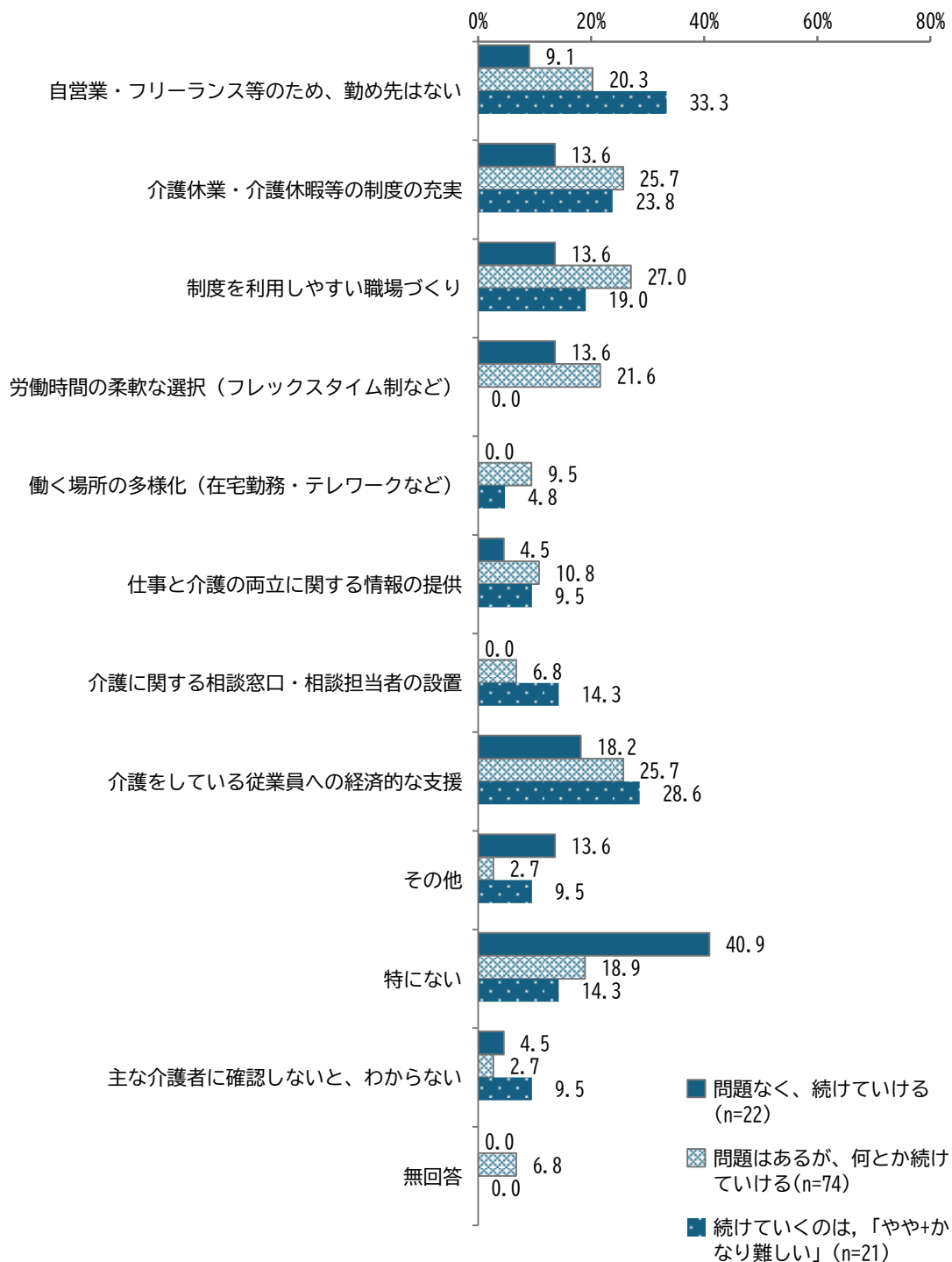
効果的な勤め先からの支援について、主な介護者の就労状況別にみると、フルタイム勤務では「介護休業・介護休暇等の充実」と「制度を利用しやすい職場づくり」が24.4%で最も高くなっています。パートタイム勤務では「特にない」が27.9%で最も高くなっています。

効果的な勤め先からの支援 就労状況別



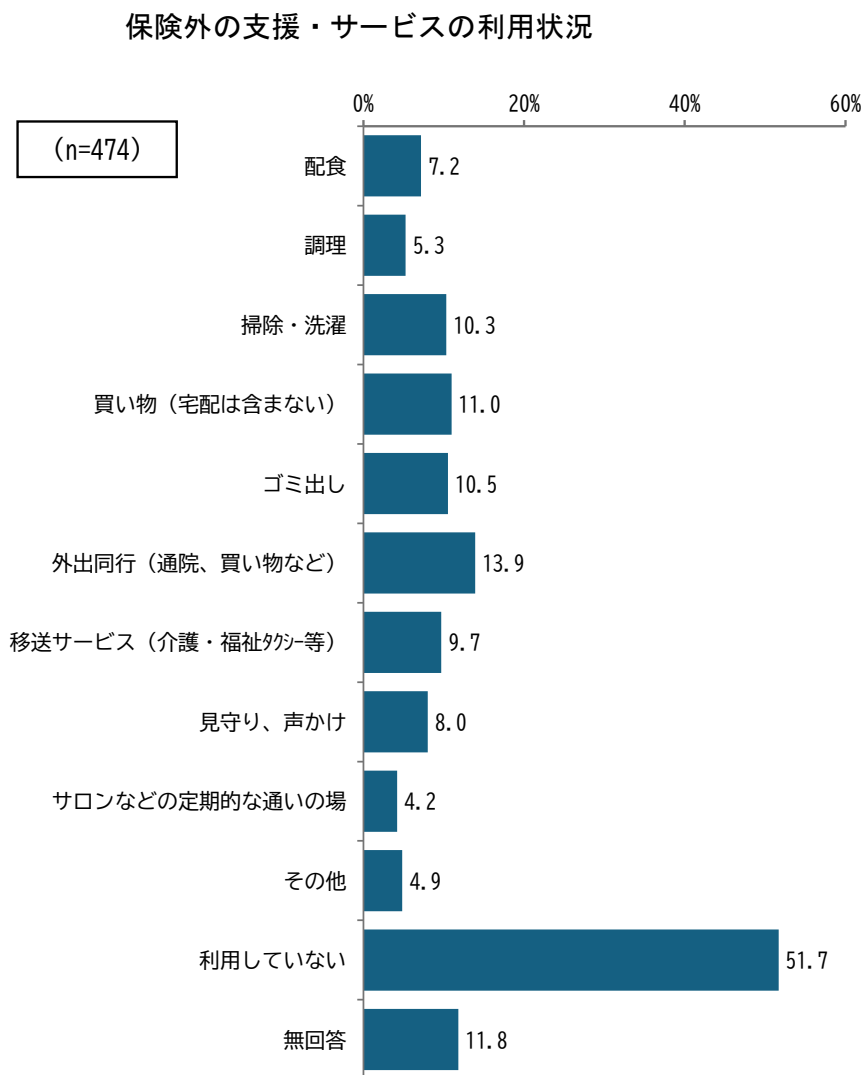
効果的な勤め先からの支援について、就労継続見込み別にみると、問題なく、続けていけるでは「特にない」が40.9%で最も高くなっています。問題はあるが、何とか続けていけるでは「制度を利用しやすい職場づくり」が27.0%で最も高くなっています。続けていくのは「やや+かなり難しい」では「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が33.3%で最も高くなっています。

効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務+パートタイム勤務） 就労継続見込み別



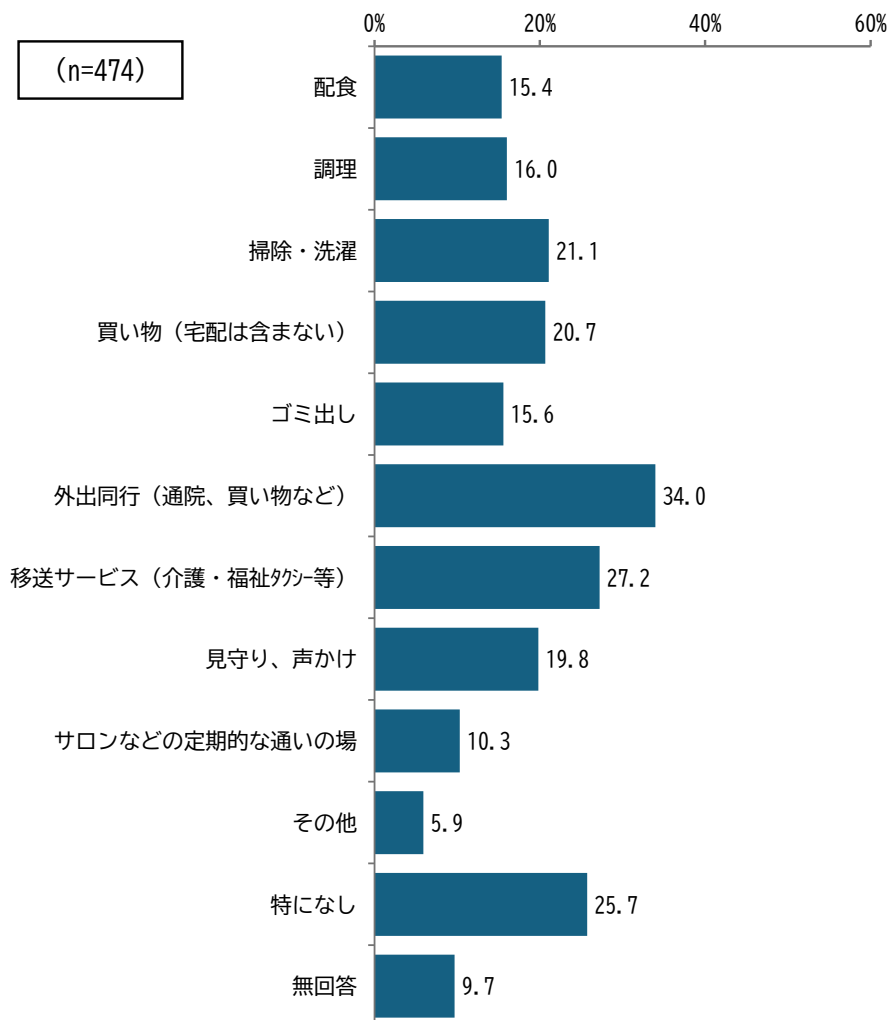
5. 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の検討

保険外の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が51.7%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が13.9%、「買い物（宅配は含まない）」が11.0%と続いています。



在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービスについて、「外出同行（通院・買い物など）」が 34.0%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 27.2%、「掃除・洗濯」が 21.1%と続いています。

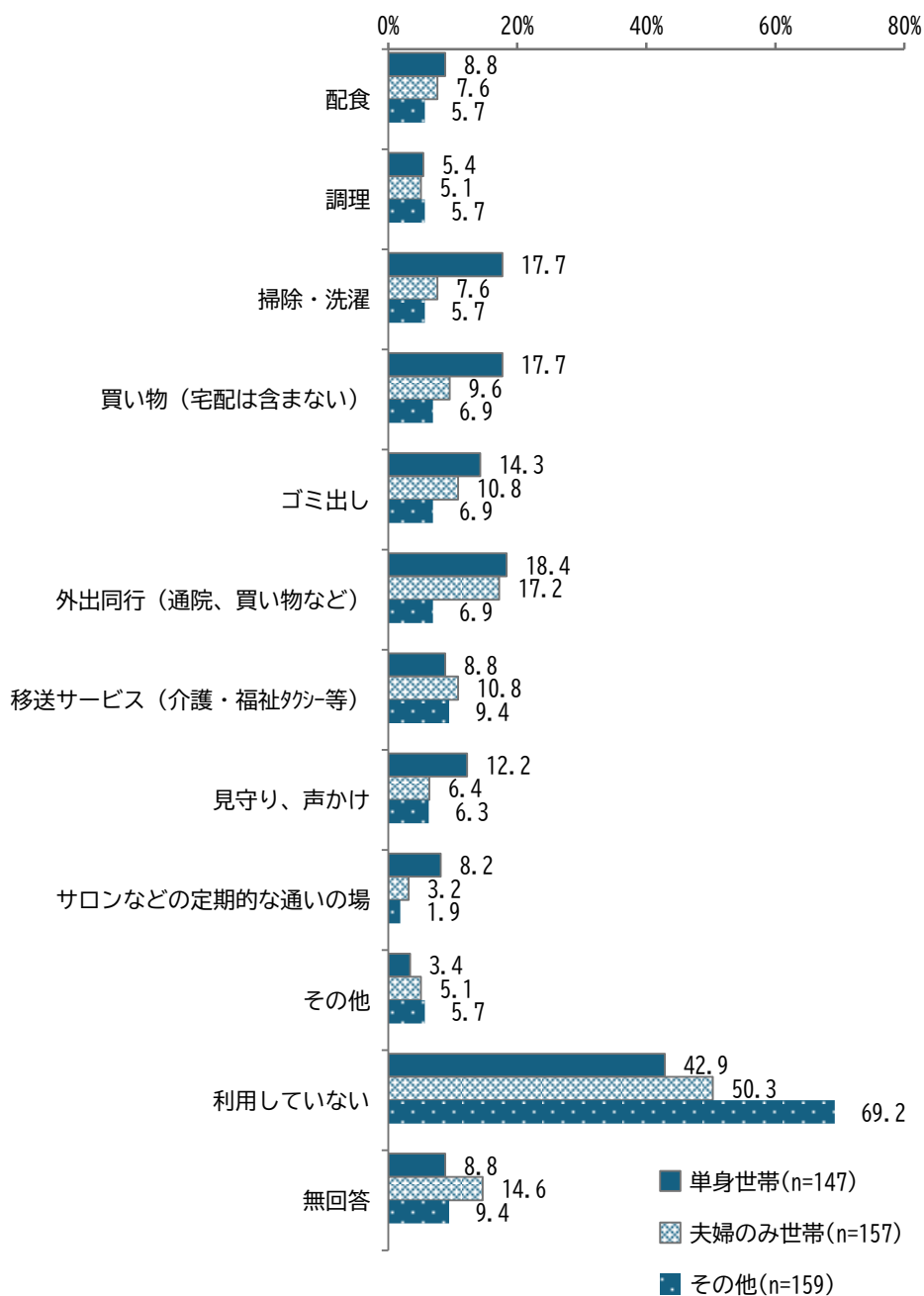
在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス



（１）世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

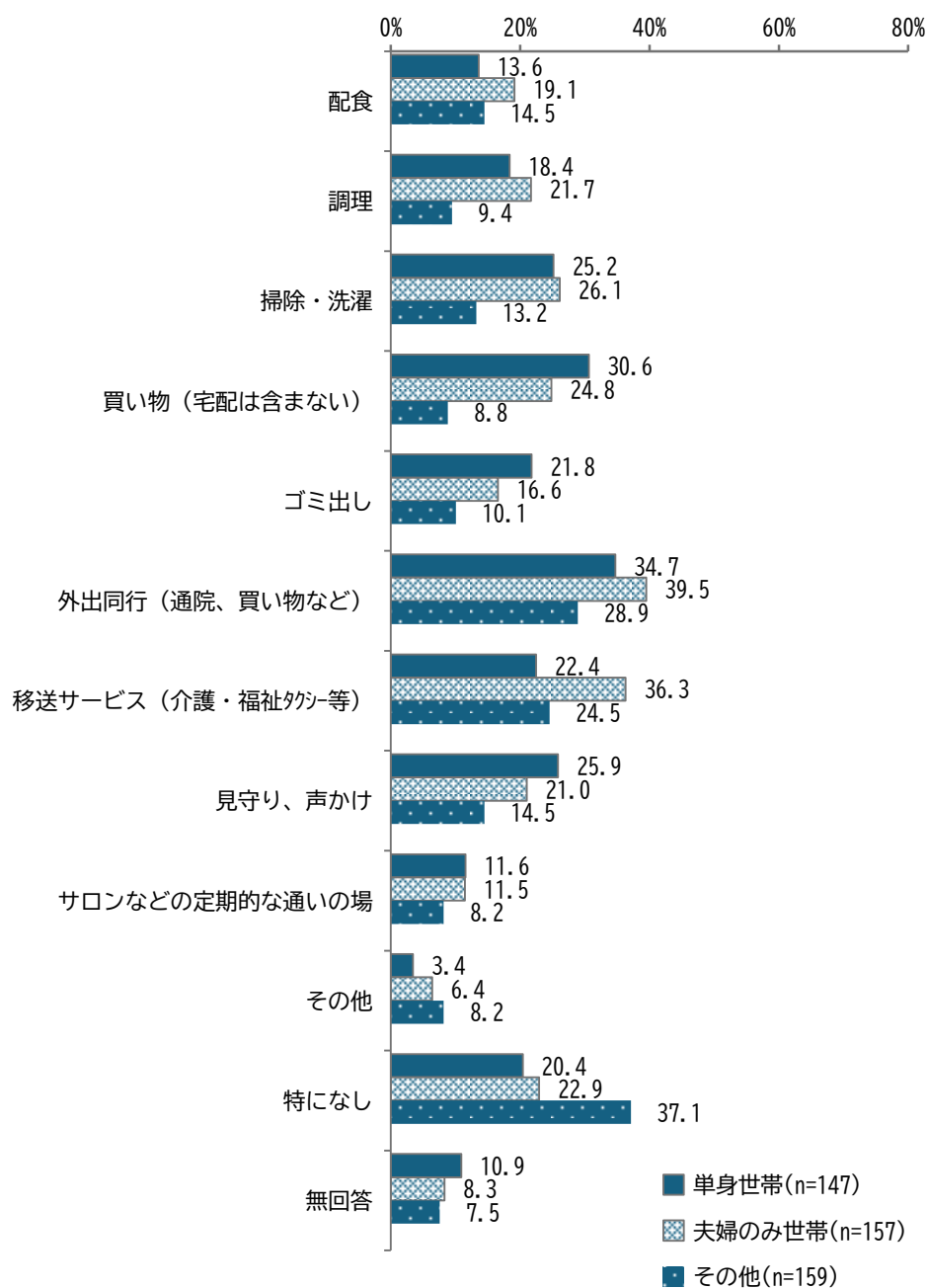
保険外の支援・サービスの利用状況について、世帯類型別にみると、全ての世帯類型で「利用していない」が最も高く、単身世帯が42.9%、夫婦のみ世帯が50.3%、その他が69.2%となっています。

保険外の支援・サービスの利用状況 世帯類型別



在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、世帯類型別にみると、単身世帯では「外出同行（通院、買い物など）」が34.7%で最も高くなっています。夫婦のみ世帯では「外出同行（通院、買い物など）」が39.5%で最も高くなっています。その他では、「特になし」が37.1%で最も高くなっています。

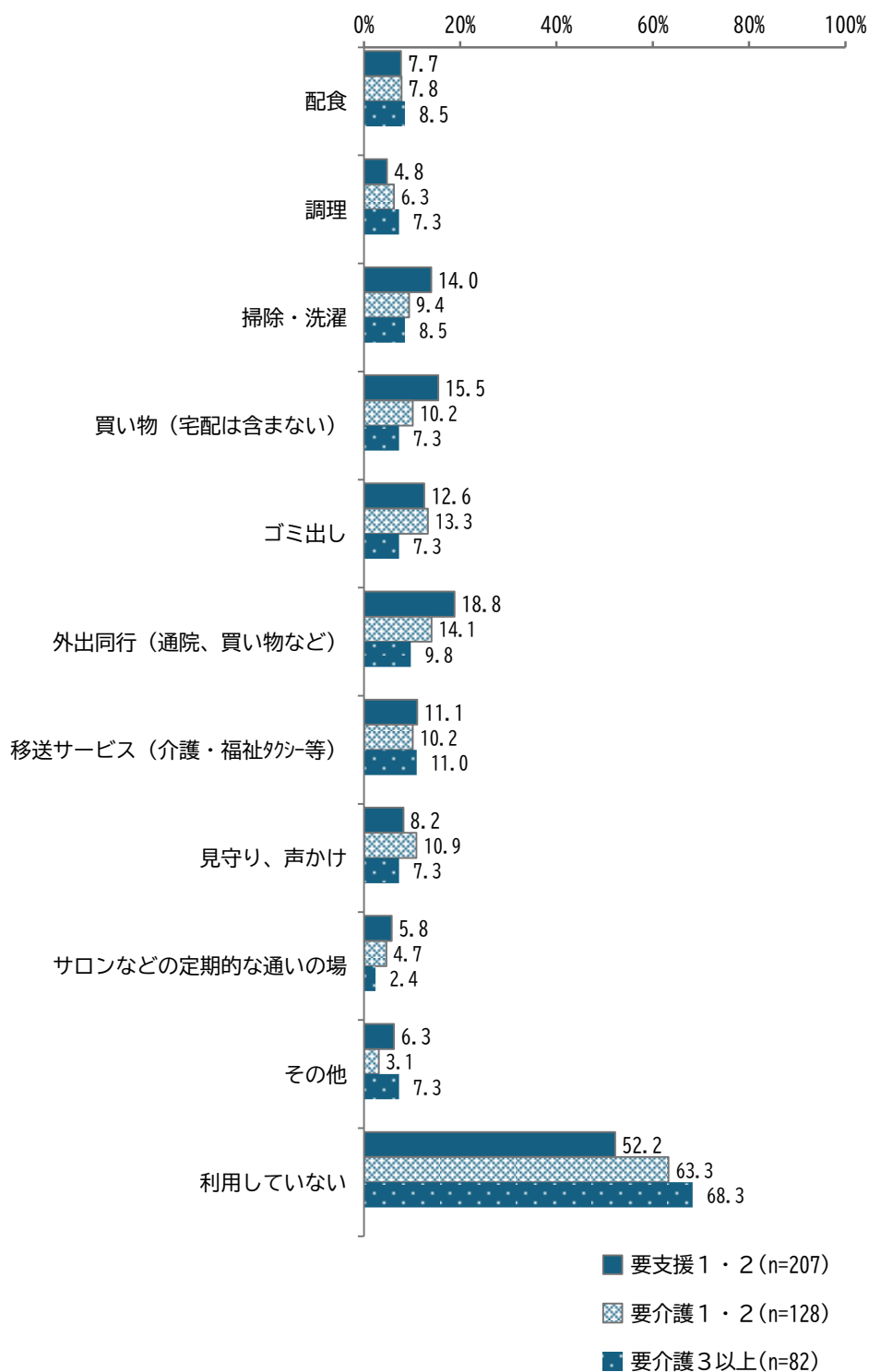
在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 世帯類型別



（２）要介護度別の保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

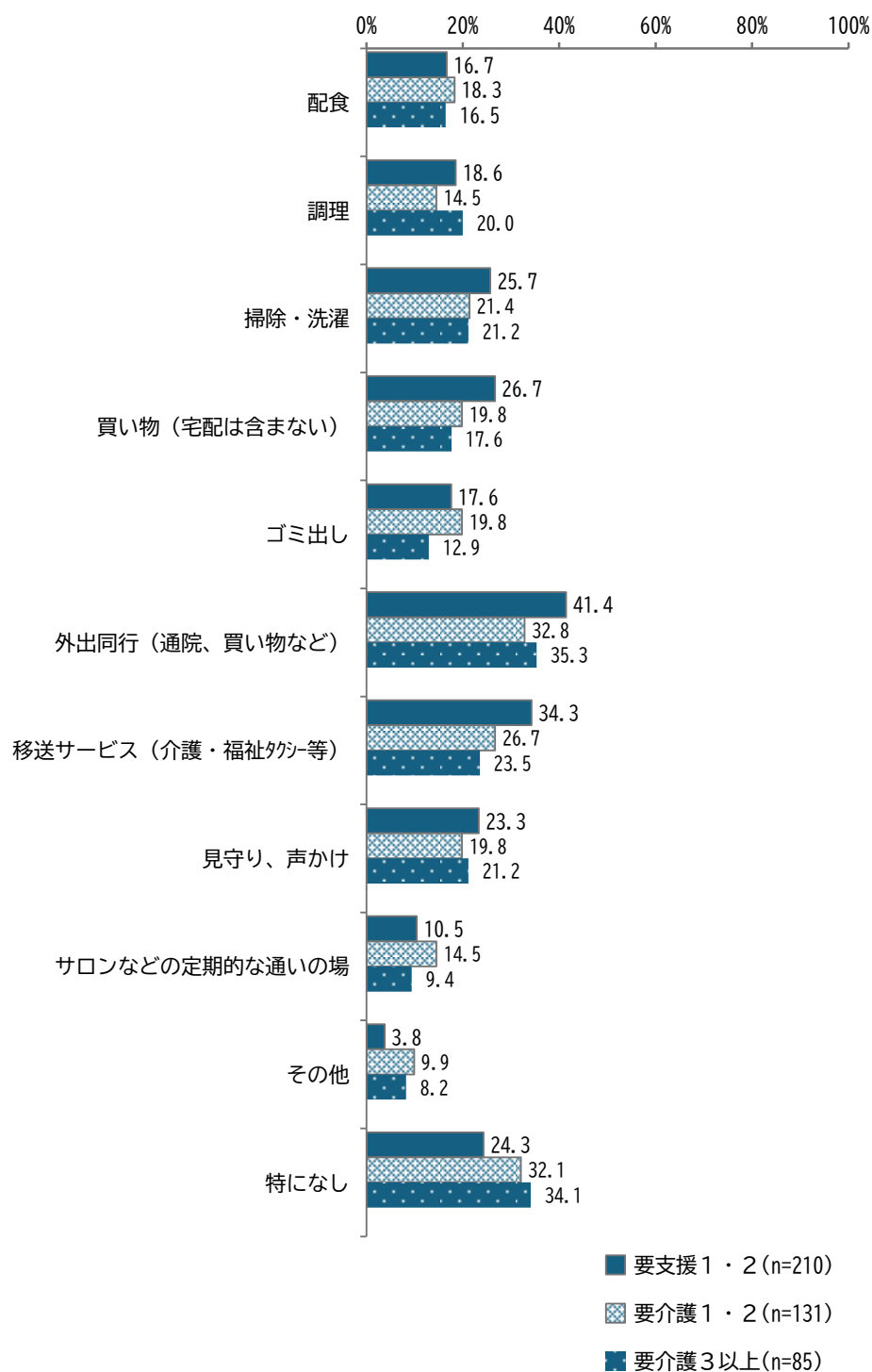
保険外の支援・サービスの利用状況について、要介護度別にみると、全ての要介護度で「利用していない」が最も高く、要支援１・２では 52.2%、要介護１・２では 63.3%、要介護３以上では 68.3%となっています。

保険外の支援・サービスの利用状況 要介護度別



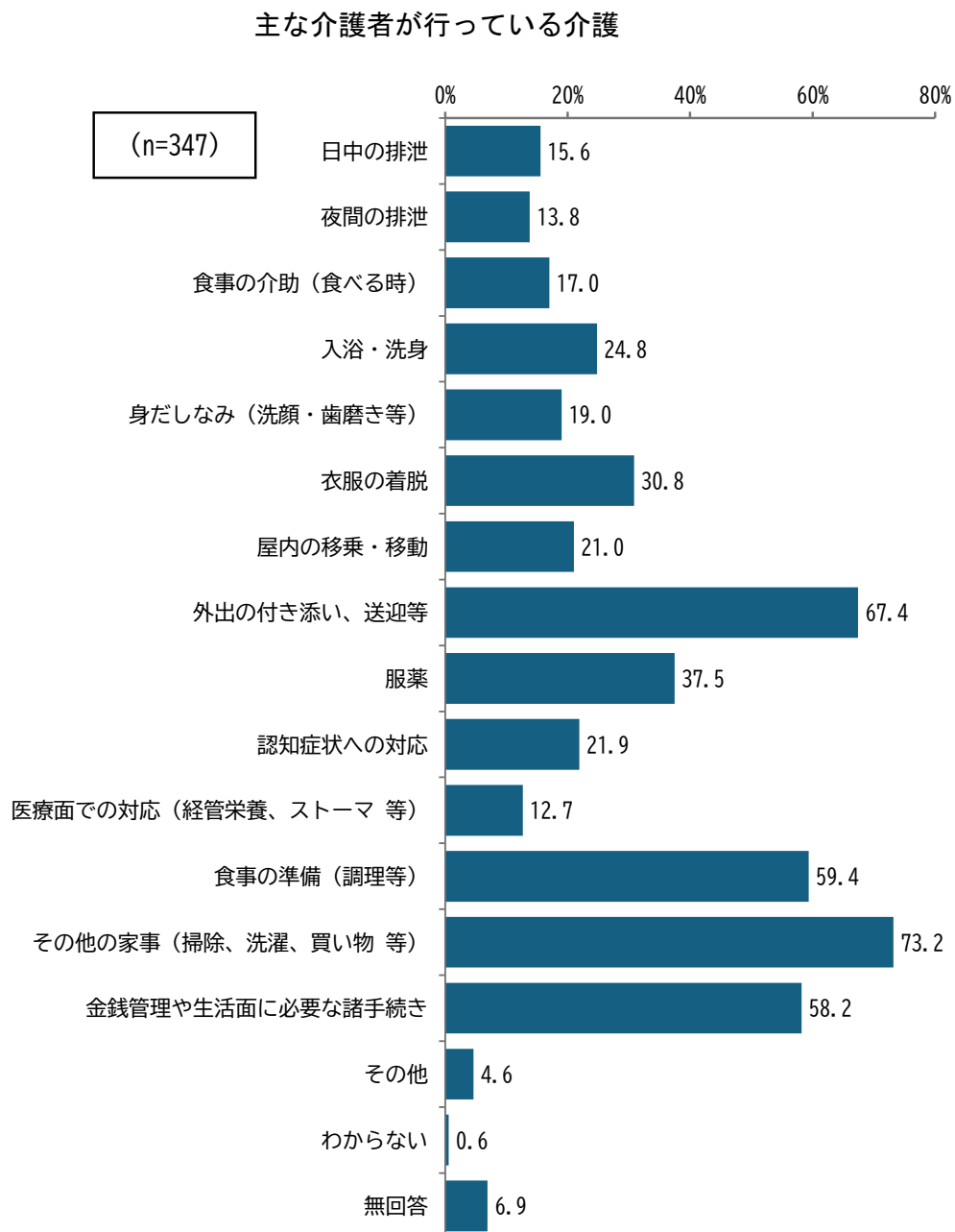
在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスの利用状況について、要介護度別にみると、全ての要介護度で「外出同行（通院、買い物など）」が最も高く、要支援１・２では４１．４％、要介護１・２では３２．８％、要介護３以上では３５．３％となっています。

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 要介護度別

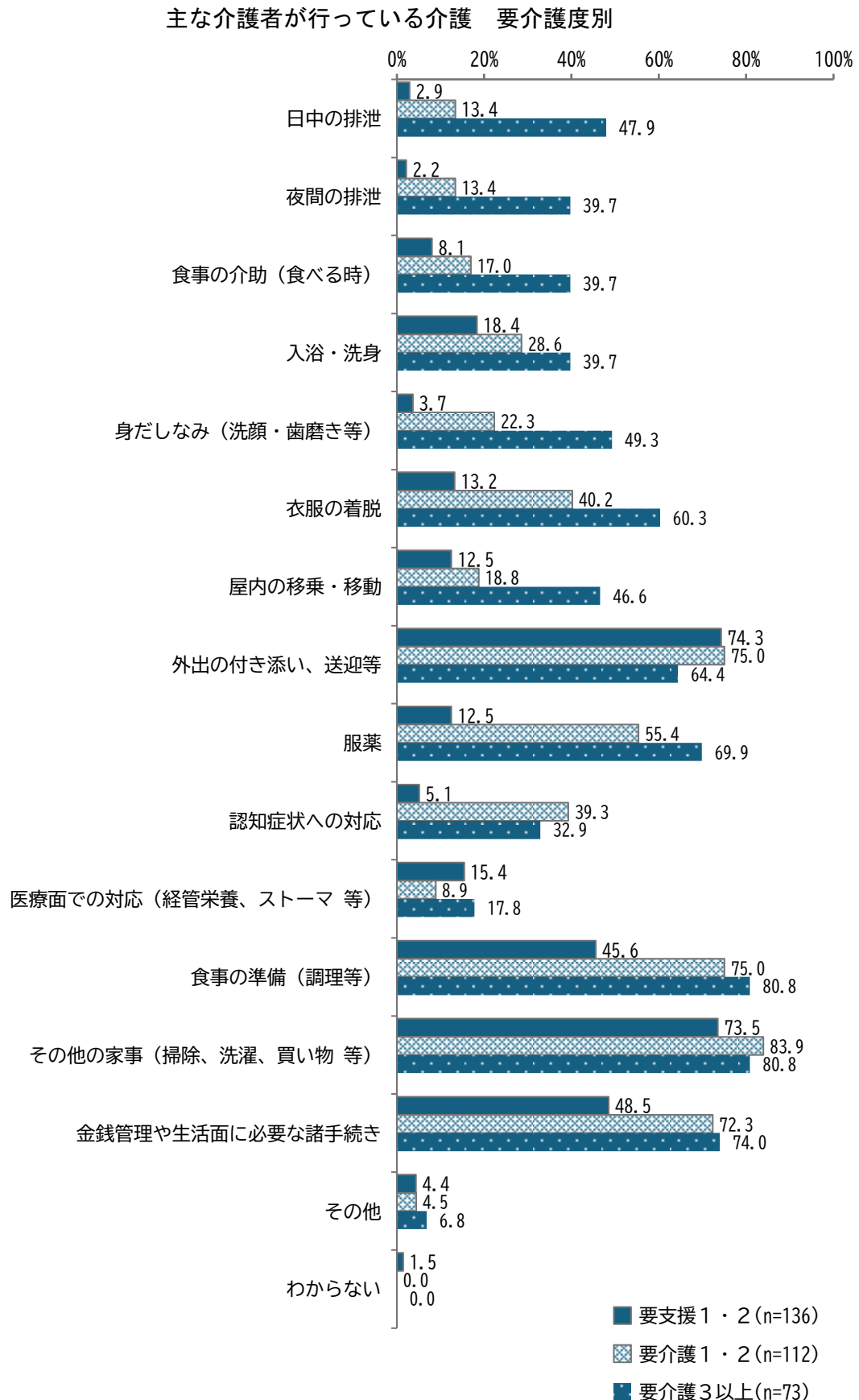


6. 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援の検討

主な介護者が行っている介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が73.2%で最も高くなっています。

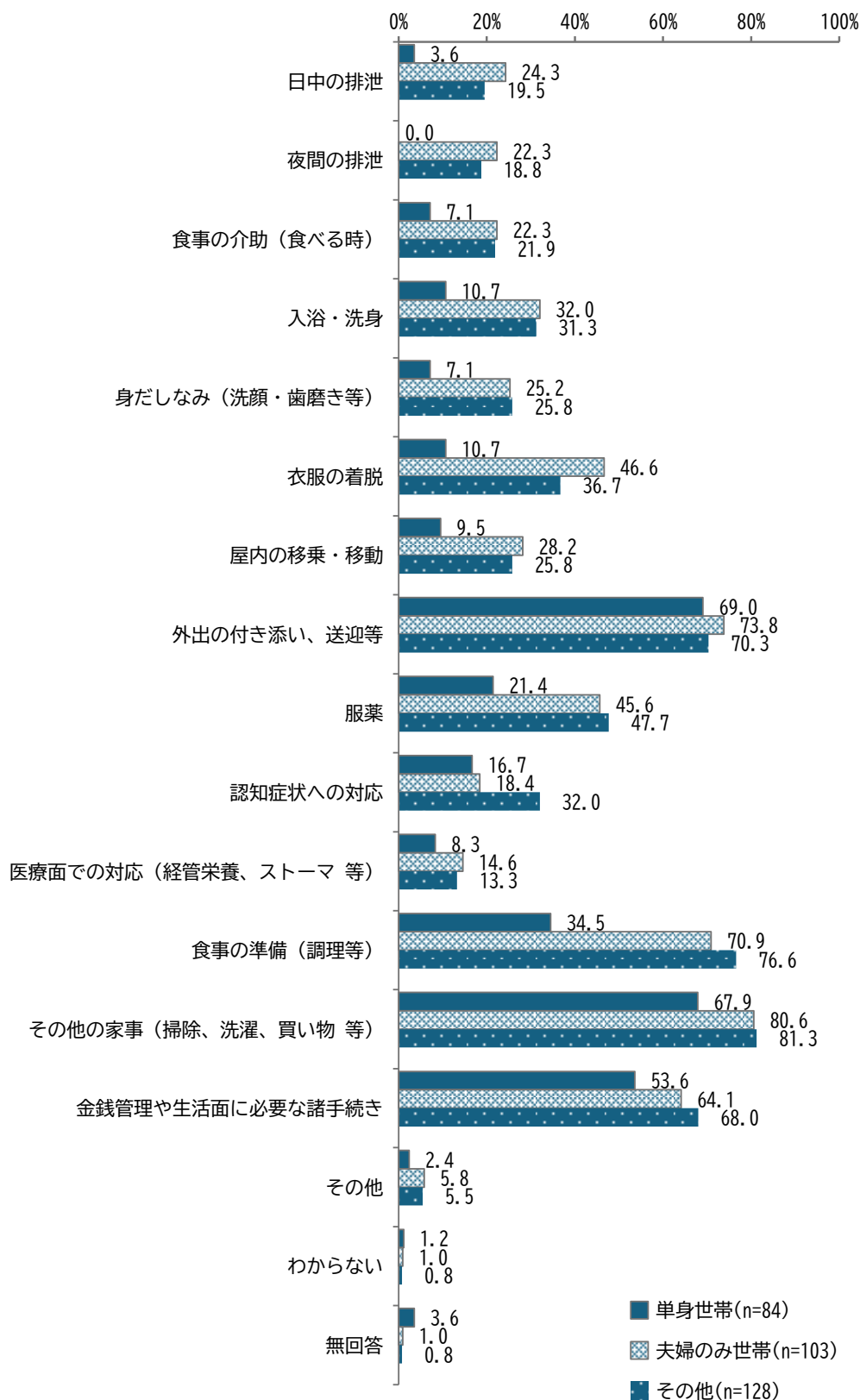


主な介護者が行っている介護について、要介護度別でみると、要支援１・２では「外出の付き添い、送迎等」が74.3%で最も高くなっています。要介護１・２では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が83.9%で最も高くなっています。要介護３以上では「食事の準備（調理等）」・「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が80.8%で最も高くなっています。



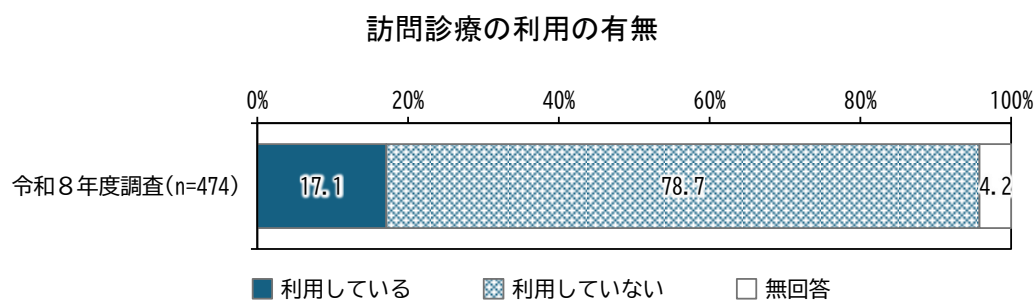
主な介護者が行っている介護について、世帯類型別でみると、単身世帯では「外出の付き添い、送迎等」が69.0%で最も高くなっています。夫婦のみ世帯では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が80.6%で最も高くなっています。その他では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が81.3%となっています。

主な介護者が行っている介護 世帯類型別

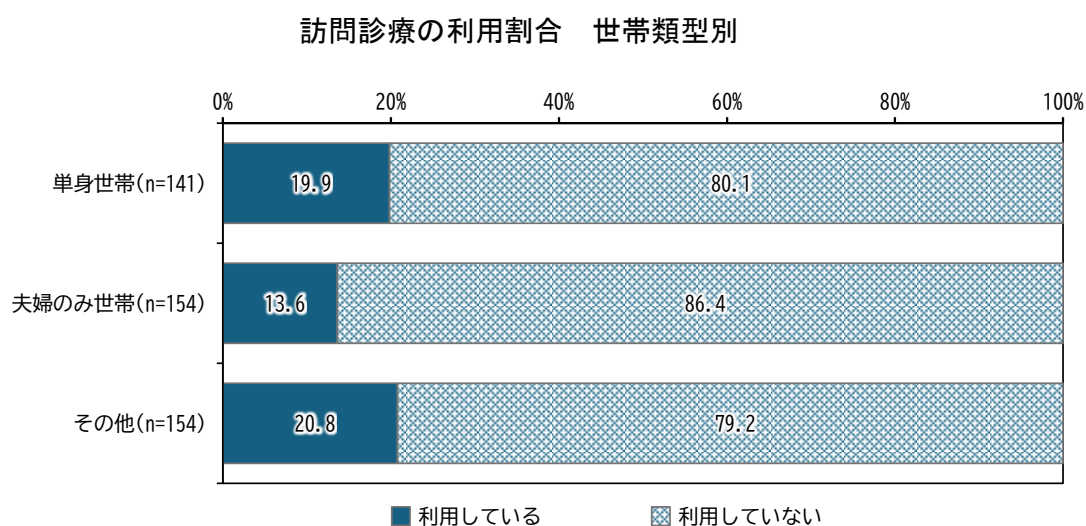


（１）訪問医療の利用割合

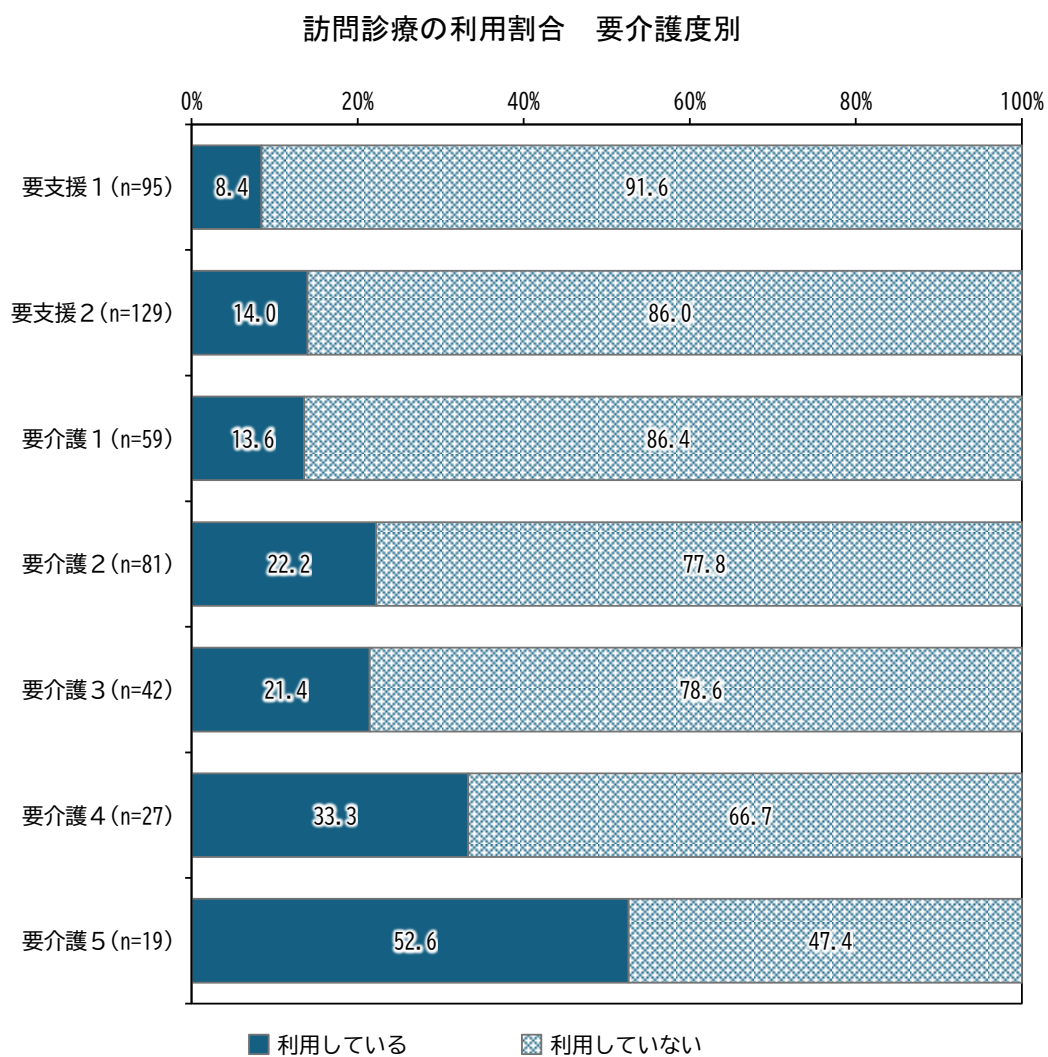
訪問診療の利用の有無をみると、「利用している」割合は17.1%となっています。



訪問診療の利用割合について、世帯類型別でみると、「利用している」割合は単身世帯で19.9%、夫婦のみ世帯で13.6%、その他で20.8%となっています。



訪問診療の利用割合について、要介護度別でみると、おおむね要介護度が上がるにつれて「利用している」割合が高くなっており、要介護5では52.6%となっています。



第3章 資料（調査票）

海南市 在宅介護実態調査

平素は、海南市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、3年に一度「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の見直しを行っており、このたび本市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、皆様の普段の生活や介護状態などを把握するアンケートを実施いたします。

調査の結果は、調査目的に添って統計的に処理するものであり、本市で適切に管理させていただきますので、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

海南市 くらし部 高齢介護課

お問い合わせ
(平日8:30~17:15)

TEL 073-483-8761
FAX 073-483-8769

ご回答にあたってのお願い

1. この調査の対象者は、在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方から無作為に選んだ皆様です。
2. ご回答にあたってA票は、表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。
4. 選択肢の（○は1つ）（○はいくつでも）等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。
5. ご回答いただきましたアンケートは、**1月28日（水）**までに同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに無記名でご投函ください。封筒には差出人の氏名の記入は不要です。

記入日をお書きください→

令和 年 月 日

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時及び効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

A票

調査対象者様ご本人について、おうかがいします

問1 世帯類型について、ご回答ください(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. ない ⇒問8へ | } 問3～問13へ |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | |
| 3. 週に1～2日ある | |
| 4. 週に3～4日ある | |
| 5. ほぼ毎日ある | |

問3 主な介護者の方は、どなたですか(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○は1つ）

1. 男性

2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

1. 20歳未満

2. 20代

3. 30代

4. 40代

5. 50代

6. 60代

7. 70代

8. 80歳以上

9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（○はいくつでも）

〔身体介護〕

1. 日中の排泄

2. 夜間の排泄

3. 食事の介助（食べる時）

4. 入浴・洗身

5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）

6. 衣服の着脱

7. 屋内の移乗・移動※

8. 外出の付き添い、送迎等

9. 服薬

10. 認知症状への対応

11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）

〔生活援助〕

12. 食事の準備（調理等）

13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）

14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15. その他

16. わからない

※移乗とはベッドから車いすなどへ移り乗ること、移動とは居間からトイレなどへ移ることを指します。

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（○はいくつでも）

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）

2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）

3. 主な介護者が転職した

4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した

5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない

6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 利用していない | |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（○は1つ）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 11 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(○はいくつでも)

1. 脳血管疾患 (脳卒中)	2. 心疾患 (心臓病)
3. 悪性新生物 (がん)	4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患 (透析)	6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)
7. 膠原病 (関節リウマチ含む)	8. 変形性関節疾患
9. 認知症	10. パーキンソン病
11. 難病 (パーキンソン病を除く)	12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うものの)	14. その他
15. なし	16. わからない

問 12 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか (○は1つ)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか (○は1つ)

1. 利用している	2. 利用していない ⇒問 14 へ
-----------	--------------------

問 14 問 13 で「2. 利用していない」と回答した方におうかがいします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

問 2 で「1. ない」を選択された方 （ご家族などから介護を受けていない方）	問 2 で「2.」～「5.」を選択された方 （ご家族などから介護を受けている方）
質問は以上です。 ご協力ありがとうございました。	『B票 主な介護者の方について、おうかがいします』へ進んでください。

※主な介護者の方、もしくは、ご本人様にご回答・ご記入をお願いいたします。

B票

主な介護者の方について、おうかがいします。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○は1つ）

- | | | |
|-----------------------|---|--------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方におうかがいします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（○はいくつでも）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方におうかがいします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は3つまで）

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） |
| 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方におうかがいします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

●問5については、全員がご回答・ご記入をお願いいたします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○は3つまで）

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動※ | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等） | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないとわからない | |

※移乗とはベッドから車いすなどへ移り乗ること、移動とは居間からトイレなどへ移ることを指します。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

●お手数をおかけしますが、記入もれがないか、再度お確かめください。

●記入した調査票は切り離さずに、同封した返信用封筒に入れて、

1月28日（水）までにご投函くださいますようお願い申し上げます。

海南市
在宅介護実態調査報告書

令和8年3月

海南市　くらし部　高齢介護課

〒642-8501　和歌山県海南市南赤坂11番地

T E L : 073-483-8601

F A X : 073-483-8769